

証券コード：9412

株式会社スカパーJSATホールディングス



2024年3月期 通期

決算説明会

2024年4月26日

将来の見通しに関する記述

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク

業績

- 営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益を達成
- 今期はさらに純利益で過去最高益更新を目指す

宇宙事業

- 国内、海外とも堅調、衛星画像販売の拡大も寄与
- 50Gbps級 大容量新衛星の調達決定
- 安全保障分野における取り組みを強化
- 国内外のスタートアップとの協業を加速

メディア事業

- 収支改善策が奏功し営業利益増益
- コネクテッドTV始動
- (株)スカパー・ピクチャーズ設立、アニメを中心としたグローバルIPビジネス

ESG

- GPIFが採用する国内株式のESG指数への4つ目の組み入れ
- 『CDP気候変動対応に関する調査』【A-】スコアを獲得

株主還元

- 株主還元を強化、増配を決定

2024年3月期 通期連結業績概要

連結業績概況

- 連結業績は過去最高益を達成
- 宇宙事業はグローバル・モバイル、衛星画像販売の拡大が増収を牽引
- メディア事業は収支改善策が奏功し営業利益増益

(百万円)

	2022年度	2023年度	増減率	2023年度通期 業績予想(修正後)	通期予想 達成率
営業収益	121,139	121,872	+ 0.6%	121,500	100.3%
営業利益	22,324	26,545	+ 18.9%	25,000	106.2%
経常利益	23,194	27,128	+ 17.0%	25,300	107.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,810	17,739	+ 12.2%	16,500	107.5%
EBITDA *	45,562	47,971	+ 5.3%	46,000	104.3%

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

セグメント別業績概況：宇宙事業



- JCSAT-1C ・ Horizons 3eの利用拡大、衛星画像販売の増加、国内における回線利用の増加
- 増収と減価償却費の減少等により前期比増益

営業収益

(百万円)

62,154

64,749

2022年度

2023年度

営業利益

(百万円)

19,151

22,798

2022年度

2023年度

セグメント利益*

(百万円)

13,515

15,532

2022年度

2023年度

主な増減要因（前期比）

■ 営業収益 647億円（+26億円）**

- グローバル・モバイル分野の増加：+17億円
- 衛星画像販売収入等の増加：+9億円
- 国内衛星ビジネス分野の増加：+4億円
- 放送トラポン収入の減少：△4億円

■ 営業費用 420億円（△11億円）**

- 減価償却費の減少：△9億円
- 衛星事業原価等の減少（主に機器販売原価）：△2億円

■ 営業利益 228億円（+36億円）

■ セグメント利益 155億円（+20億円）

- 持分法投資損失：△3億円

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

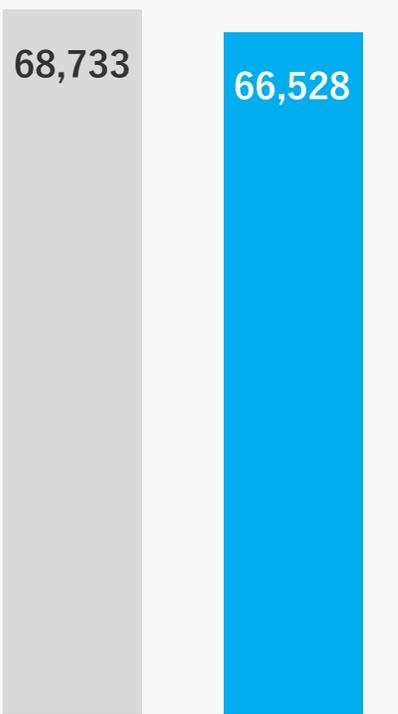


セグメント別業績概況：メディア事業

- FTTH事業収入の増加、デジタルシフトなどの費用削減により収支改善、営業利益増
- 投資有価証券評価損の計上がセグメント利益を押し下げ

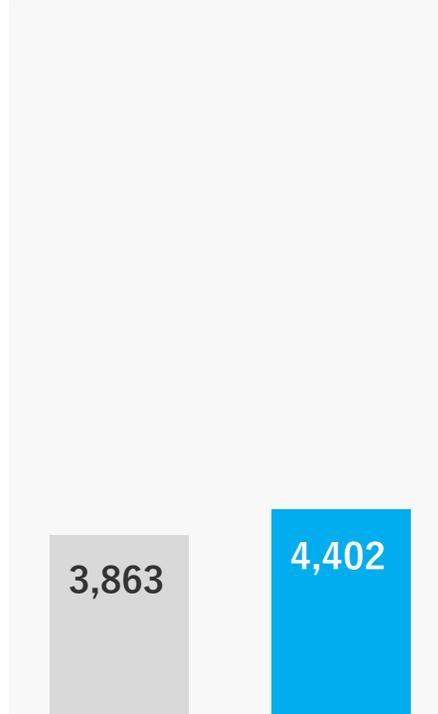
営業収益

(百万円)



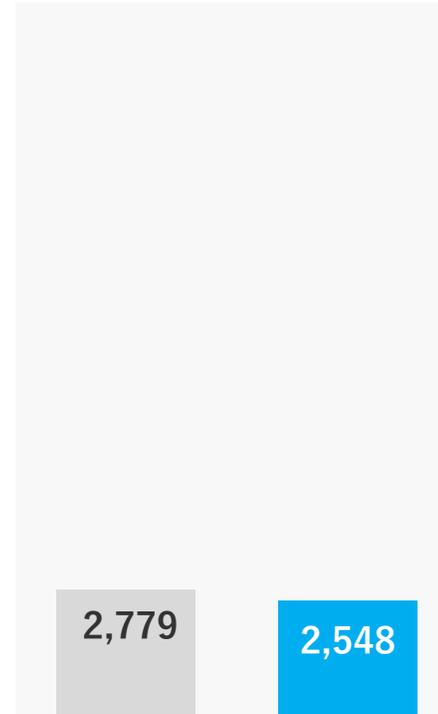
営業利益

(百万円)



セグメント利益*

(百万円)



主な増減要因（前期比）

- **営業収益 665億円（△22億円）****
 - ・ 視聴料・業務手数料・基本料収入の減少：△24億円
 - ・ FTTH事業収入の増加：+3億円
- **営業費用 621億円（△27億円）****
 - ・ 広告宣伝・販促費の減少：△10億円
 - ・ 衛星回線料等の減少：△5億円
 - ・ 減価償却費の減少：△1億円
 - ・ デジタルシフトによる費用の減少：△5億円
- **営業利益 44億円（+5億円）**
- **セグメント利益 25億円（△2億円）**
 - ・ 投資有価証券評価損：△8億円

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

2024年度 連結業績予想

2024年度連結業績予想

新領域への先行投資を進めるとともに、基盤事業の収益性／生産性向上を図り
当期純利益は過去最高益を目指す

(百万円)

	2023年度通期実績	2024年度通期予想	増減率
営業収益	121,872	123,300	+ 1.2%
営業利益	26,545	25,800	△2.8%
経常利益	27,128	26,200	△3.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	17,739	18,000	+ 1.5%
EBITDA *	47,971	46,000	△4.1%

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却額 + 支払利息。

セグメント別業績予想

宇宙事業

- ・ 4K左旋終了に伴う放送トラポン収入の減収を、スペースインテリジェンス等の増収で補う
- ・ 事業拡大に向けた各施策が実行フェーズに本格的に移行し、先行費用が増加し減益

メディア事業

- ・ FTTH事業収入やメディアソリューション事業収入の増加により減収幅は縮小
- ・ 新たな領域へ先行費用を投下するも、4K左旋終了含むコスト削減や効率化により増益

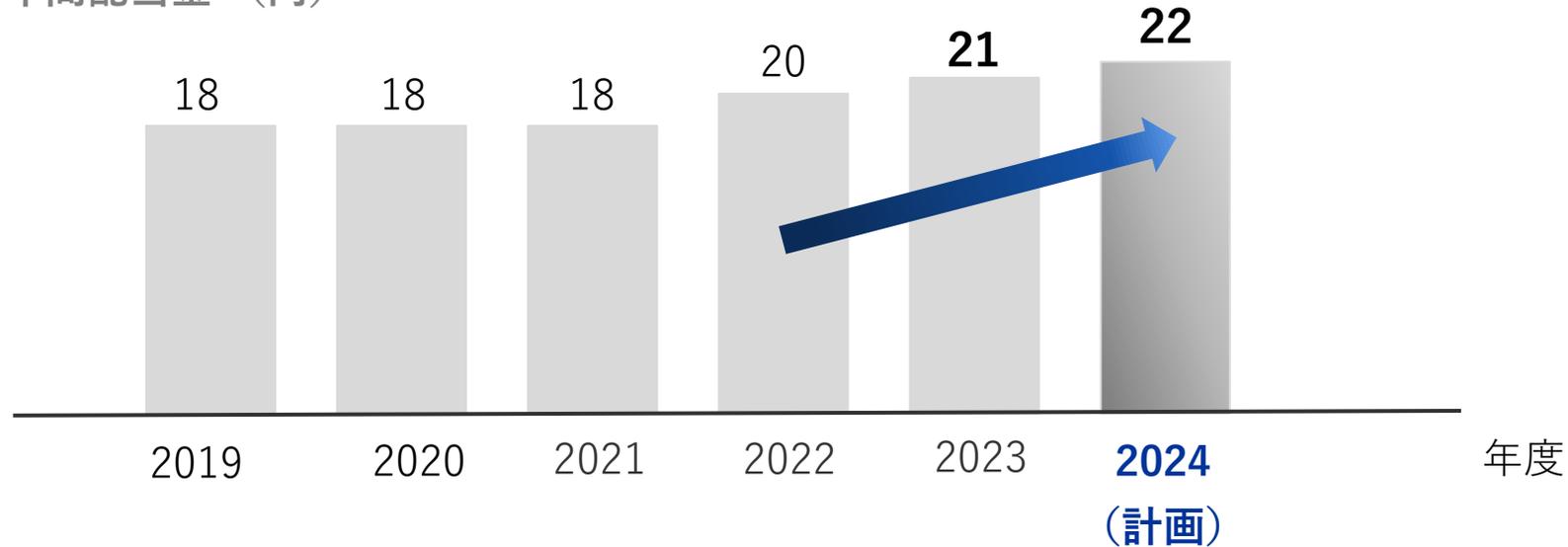
	2024年度セグメント別業績予想				(百万円)
	宇宙事業	メディア事業	消去または 全社	連結合計	
営業収益	65,000 (+250)	64,900 (△1,628)	△6,600 (+2,805)	123,300 (+1,427)	
営業利益	21,700 (△1,098)	4,800 (+397)	△700 (△44)	25,800 (△745)	
セグメント利益 * 純利益ベース	15,100 (△432)	3,300 (+751)	△400 (△58)	18,000 (+260)	

注：()内は対前年度比増減。

株主還元

- 2023年度は1株あたり年間 **21 円** に増配
- 2024年度は **1株あたり年間 22 円** を配当予定

1株あたり年間配当金 (円)



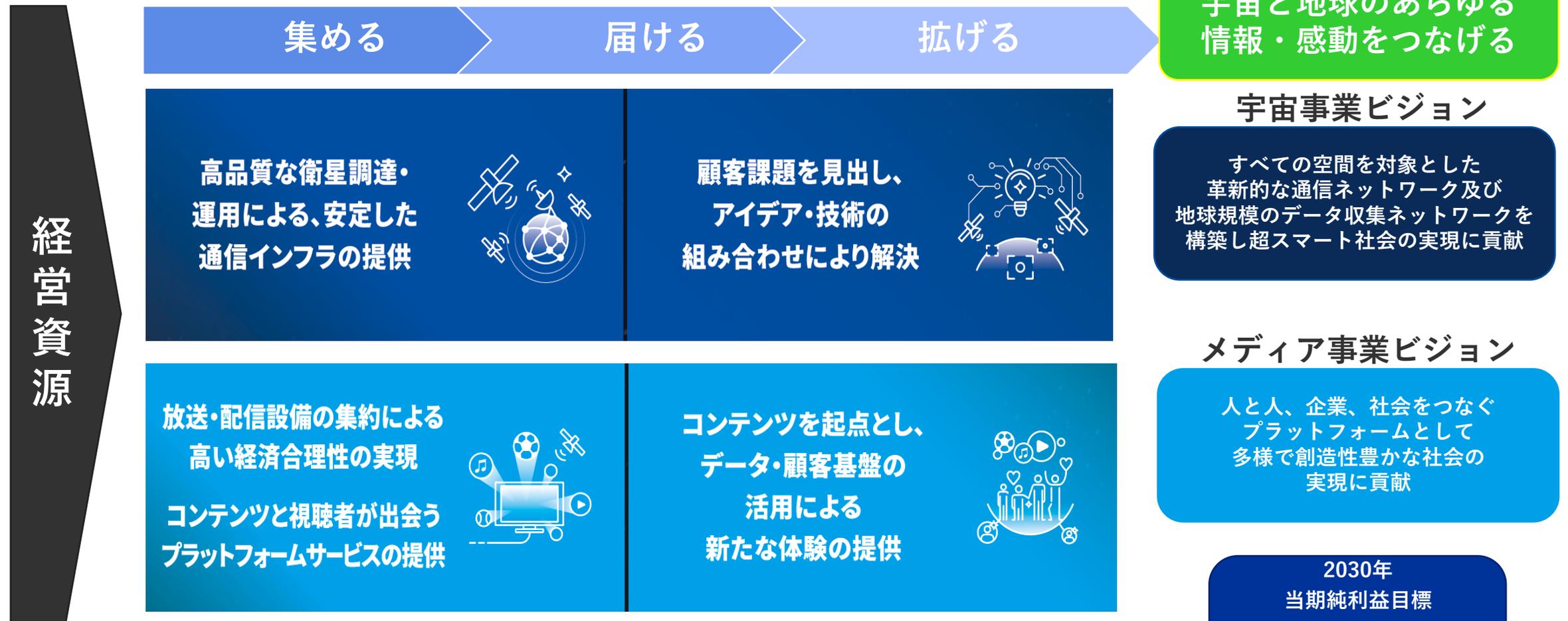
配当金総額	53	53	53	58	60	62	(億円)
自己株式取得額	—	—	30	—	50	—	
合計	53	53	83	58	110	62	

FY2022～FY2026の5年間で
株主還元400億円
配当に加え、機動的に自己株式取得を行う

2030年に向けて



■ 2030年に向けた成長の道筋を描く、価値創造ストーリーを改訂

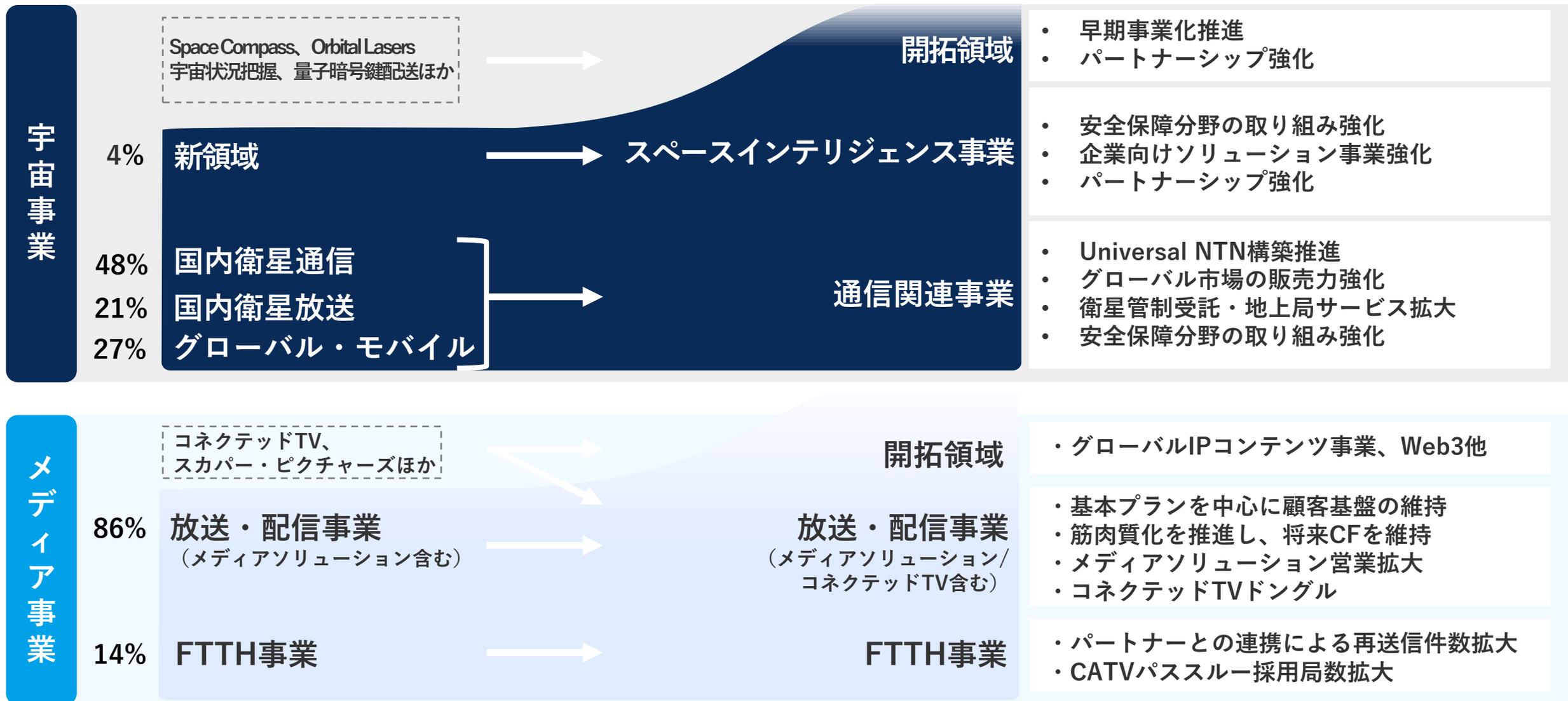


事業ビジョン実現に最適な経営資源（資本と人）を配分

*全体はグループサイト参照：<https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/stories/>
トップページ>サステナビリティ>価値創造ストーリー

2030年に向けた事業ごとの成長戦略

事業領域の拡大と新規事業の開拓



事業ビジョン実現に向けた資本投下（FY2022～FY2030）

既存事業も含め注力する領域を定め、
資産効率、資本コストを意識した資本の投下により、企業価値の向上を目指す

既存設備を活用した事業推進、HTSを軸とした衛星フリート戦略、パートナーシップ強化やM&A

2030年までに、3,000億円規模の資本投下

2,500億円規模

500億円規模

宇宙事業

メディア事業

通信関連事業
スペースインテリジェンス事業
開拓領域

放送・配信事業
FTTH事業
開拓領域

2030年度
当期純利益目標
250億円超

宇宙事業 210億円
メディア事業 50億円

当期純利益（億円）

177

180

FY2023

FY2024（計画）

今後の資本投下

資本投下
(設備投資
+
事業投資
+
戦略的
資本投下)

実績

FY2022

【計 202億円】

FY2023

【計 211億円】

宇宙事業：159億円

衛星
地上局設備
軌道上衛星延命サービス

メディア事業：49億円
放送設備

その他：3億円

FY2024計画

【計 330億円】

宇宙事業：280億円

衛星
地上局設備
拠点拡張
開拓領域への投資

メディア事業：50億円

放送設備
コネクテッドTV

FY2025～FY2030

宇宙事業

宇宙インフラ（大容量衛星等）

地上インフラ（地上局等）

スペースインテリジェンス分野

開拓領域

Startup投資

メディア事業

FTTH拡大

スカパー東京メディアセンター設備更新

コネクテッドTV

3,000億円規模

戦略的資本投下・・・

設備投資以外の複数年にわたる重要な資本投下

※参考資料P41に設備投資・事業投資の内訳を掲載

※主な投資決定済み案件の2025年度以降の支出予定額 約400億円
(主な案件：新衛星、Superbird-9、Space Compass、拠点拡張など)

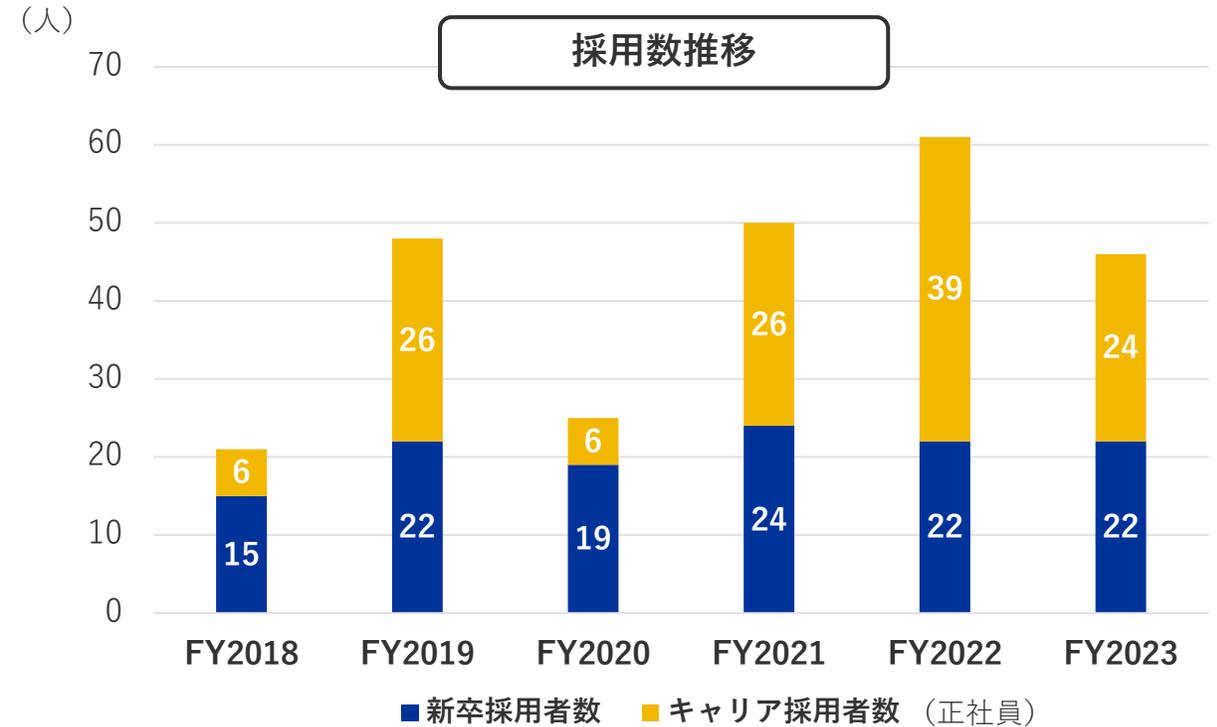


2023年度の実績

- 人財戦略策定：「採用と育成」「抜擢と配置」
- 人事制度改訂：ジョブ型の一部採用、シニア活躍

ジョブアサインによるプロジェクト例

宇宙事業	投資・協業推進、周波数戦略
メディア事業	M&A・事業開発 WEB/アプリ開発体制化
全社	基幹システム最適化



2024年度の方針

- 給与ベースアップ（管理職・非管理職）
- リスキリング支援強化：補助費拡大
- スキルマップ整理と注力領域への人の配置

すべての空間を対象とした革新的な通信ネットワーク及び地球規模のデータ収集ネットワークを構築し、超スマート社会の実現に貢献する



2030年セグメント
利益目標

210億円

安全保障

防災

スマート
シティ

スマート
農業

自動運転

その他
第1-3産業

政府

自治体

建設

農業

運輸

医療

50Gbps級の大容量新衛星調達決定

調達中のSuperbird-9等と組み合わせ「高速・大容量・高信頼性・使いやすい」を実現する革新的な次世代衛星通信サービスの展開を目指す

次世代大容量衛星フリート

Superbird-9

新衛星

既存衛星

100Gbps超

数百Mbpsの高速通信
最適な通信経路を自動選択

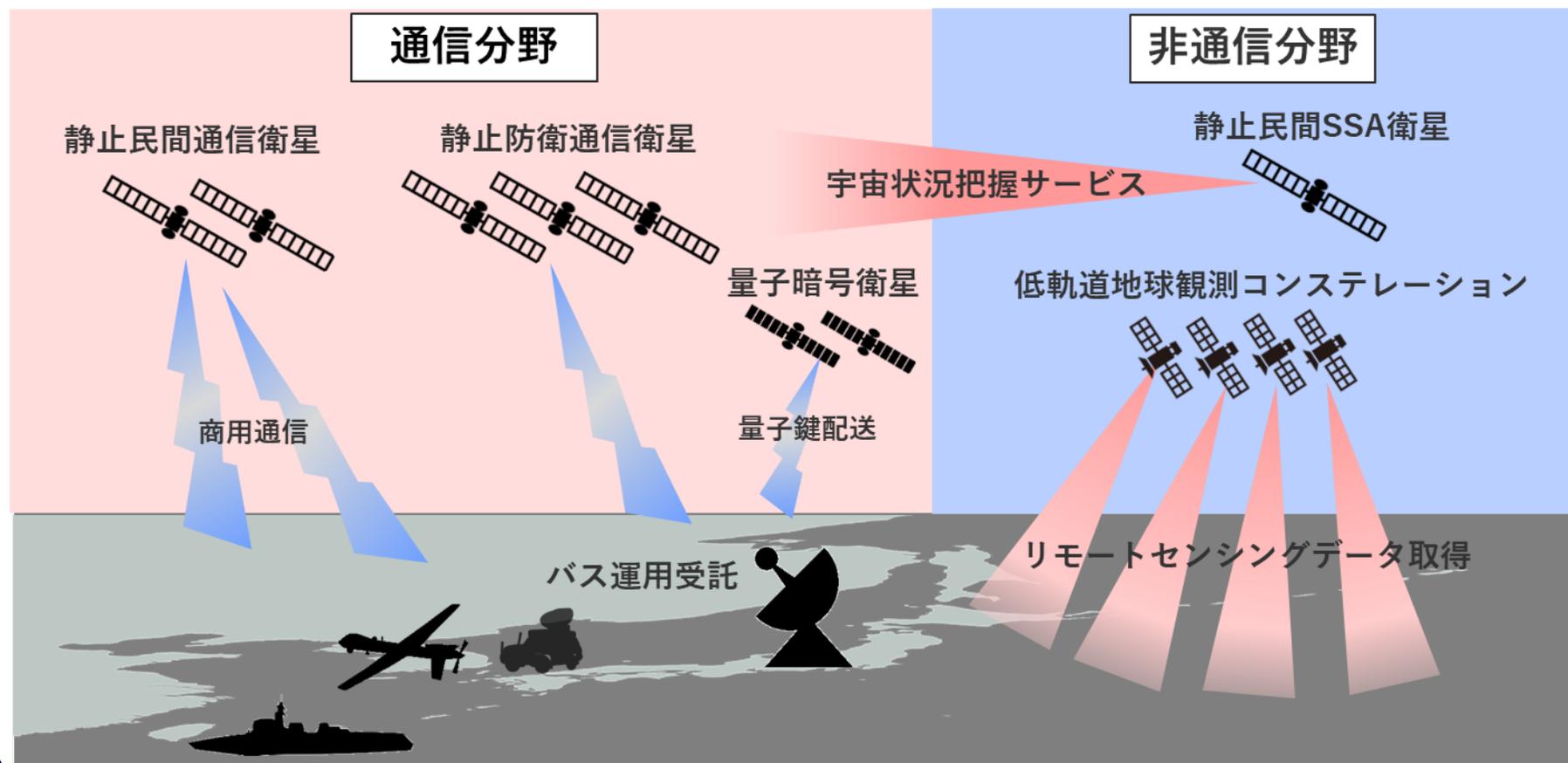
他社静止軌道衛星

グローバルアライアンス

他社非静止軌道衛星

安全保障分野における取り組み

宇宙利用の拡大に伴う新たな需要取り込みと積極的な投資により
事業成長と安全保障分野における貢献を目指す



安全保障分野

FY2024
売上目標
約90億円
(国内・海外)

FY2030
売上目標
約150億円

新たな宇宙事業創出に向けた取り組み

宇宙スタートアップとの協業加速のため100億円の投資枠を設定

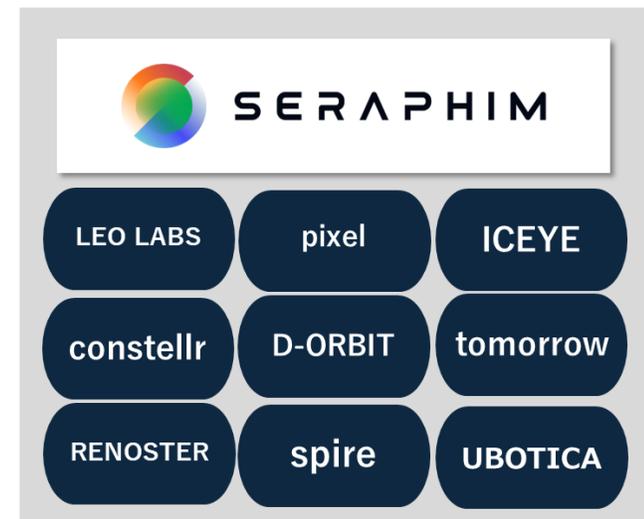
- スカパーJSATの知見・アセットとスタートアップの新技术を組合せ新たな宇宙事業を創出
- 3月28日『スカパーJSAT Space Startup Connect』開催
 - QPS研究所、天地人が当社業務提携先として登壇
 - 宇宙関連スタートアップ、投資家、事業会社
80社／約140名が参加



英国ファンド『Seraphim Space Ventures』へ投資 海外スタートアップの情報収集と協業検討を加速

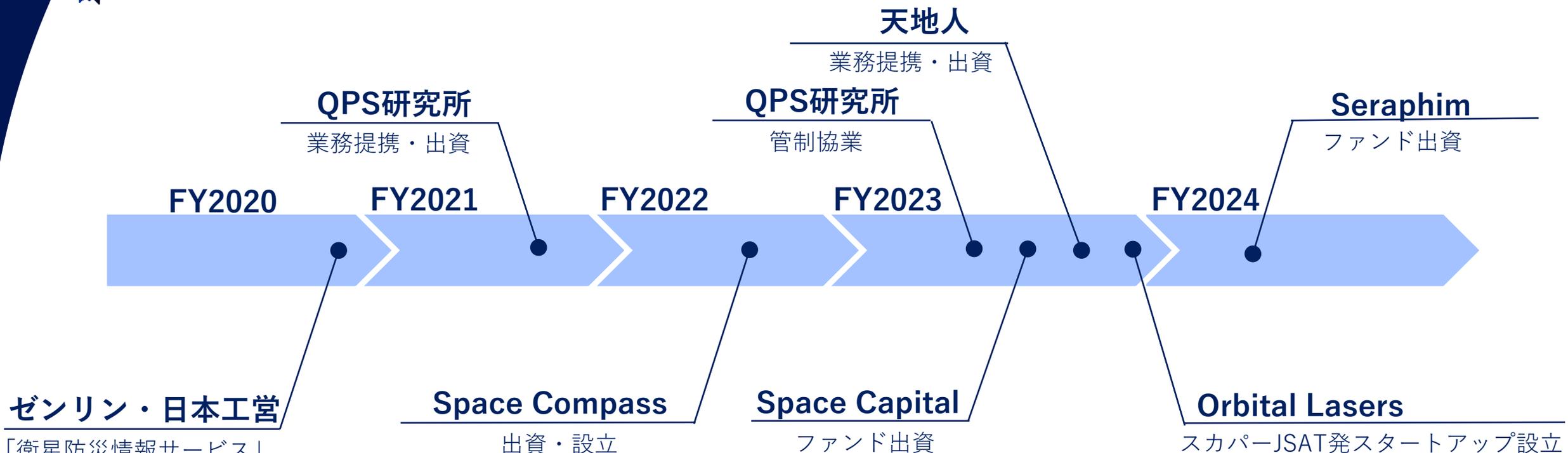
Seraphim Space Manager LLP

欧米を中心に業界最大規模の投資実績のある宇宙ベンチャーキャピタル
 設立：2014年
 代表者：CEO Mark Boggett氏



ポートフォリオ予定企業（一部抜粋）

主な投資・協業実績 (2020年度~)



© NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION & SKY PERFECT JSAT CORPORATION

宇宙ビジネスにおけるプレゼンス向上に向けた取り組み

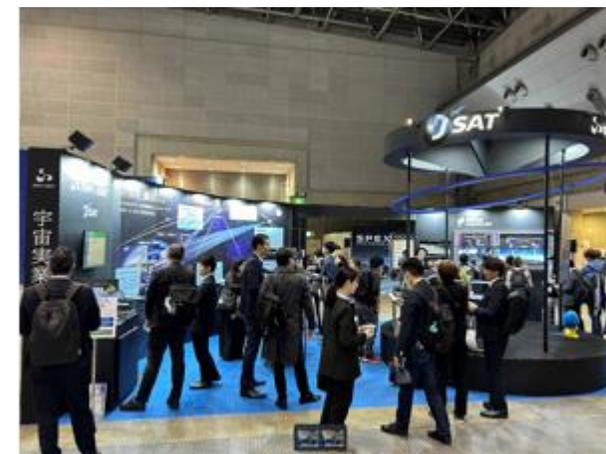
3月18~21日 『Satellite 2024』 に出展

- 宇宙業界関係者が一堂に会する世界最大級イベント
 - 米国・ワシントンD.C.
出展企業400社以上／来場者約15,000名
- 当社事業の新規性、
日米安全保障協力に向けた貢献可能性をアピール



4月24~26日 『SPEXA-Space Business Expo-』 に出展

- 宇宙ビジネスに特化した日本最大級イベント
 - 出展企業80社／来場者1万名見込み
- Space Compassと共同出展、宇宙事業の取り組みを紹介



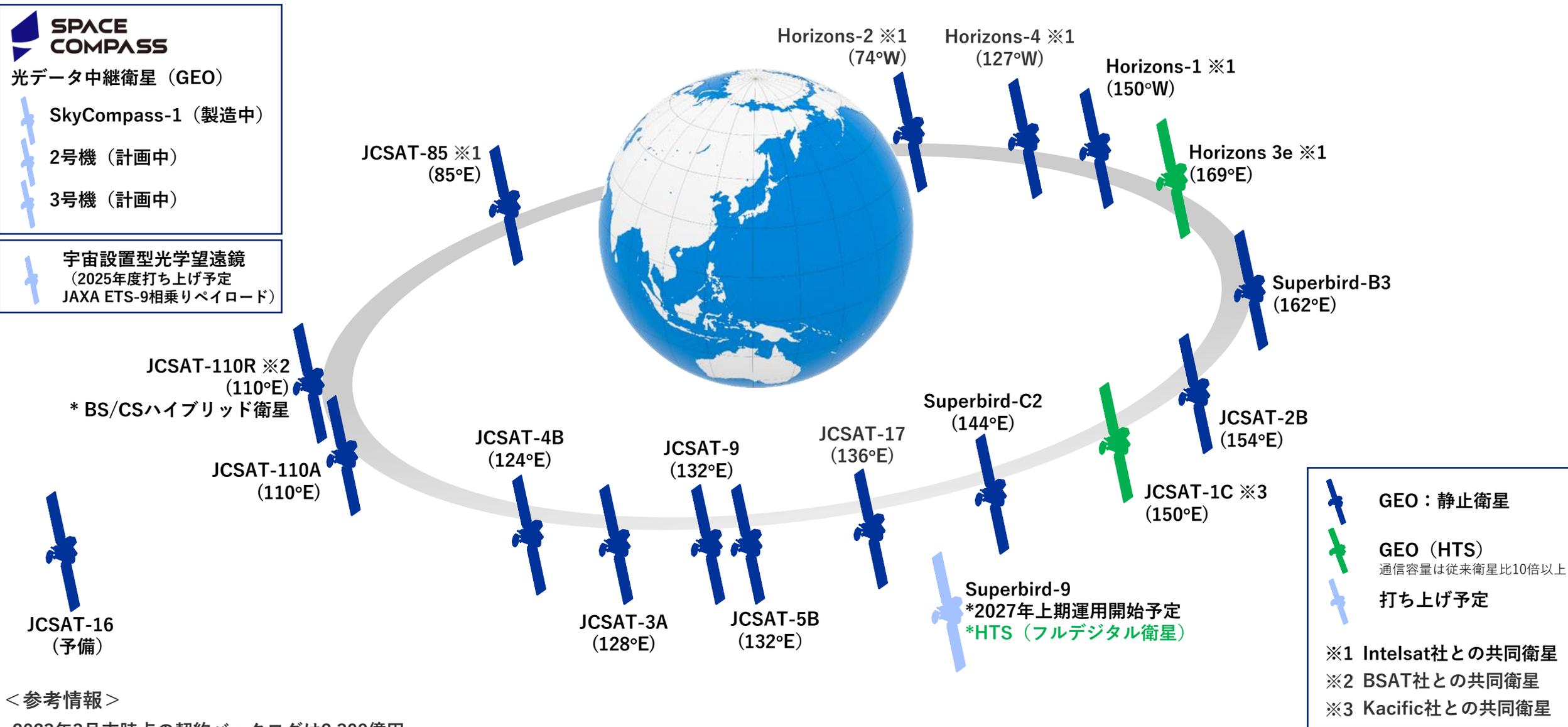
北米上空からインド洋上空まで 計17機 の衛星を保有

SPACE COMPASS

光データ中継衛星 (GEO)

- SkyCompass-1 (製造中)
- 2号機 (計画中)
- 3号機 (計画中)

宇宙設置型光学望遠鏡
(2025年度打ち上げ予定
JAXA ETS-9相乗りペイロード)



- GEO : 静止衛星
- GEO (HTS)
通信容量は従来衛星比10倍以上
- 打ち上げ予定

- ※1 Intelsat社との共同衛星
- ※2 BSAT社との共同衛星
- ※3 Kacific社との共同衛星

<参考情報>

- ・2023年3月末時点の契約バックログは2,309億円
- ・運用中衛星の平均機齢：約10年／設計寿命：約15年

メディア事業ビジョン

人と人、企業、社会をつなぐプラットフォームとして
多様で創造性豊かな社会の実現に貢献する

「放送 + 配信 + リアル/バーチャル」でファンの体験を拡張

FTTH事業

光再送信 / CATVパススルー

ライブ・録画 / 基幹商品

放送

多様なコンテンツ
(スポーツ&エンタメ)

イベント・グッズ
/ web3

リアル/バー
チャル体験

ライブ・VOD
ジャンル商品

配信

リアル
/バーチャル



ファン

コネクテッドTV

ドングル / 広告PF構築

2030年
セグメント
利益目標

50億円

コールセンター

東京メディアセンター

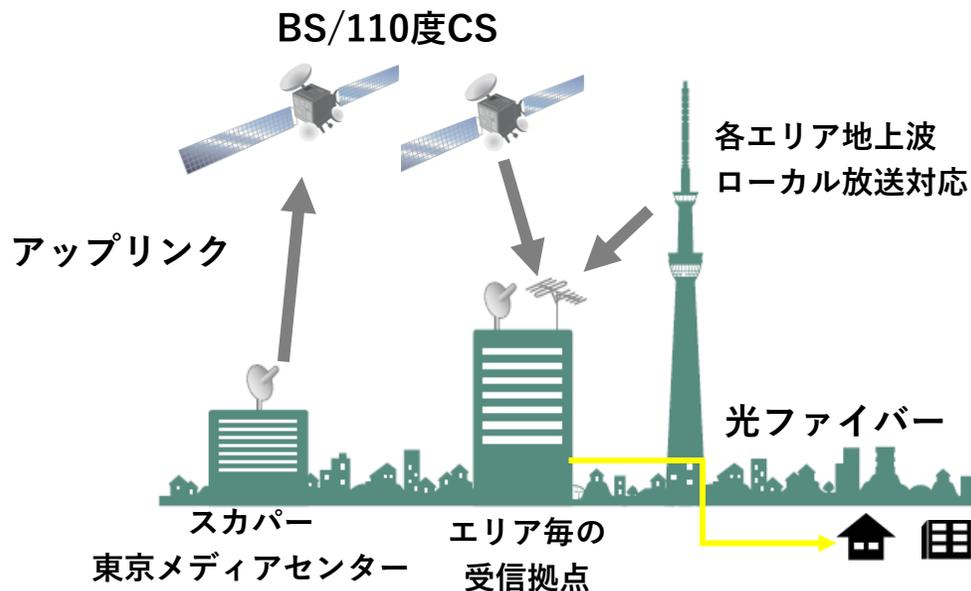
事業基盤

メディア ソリューション

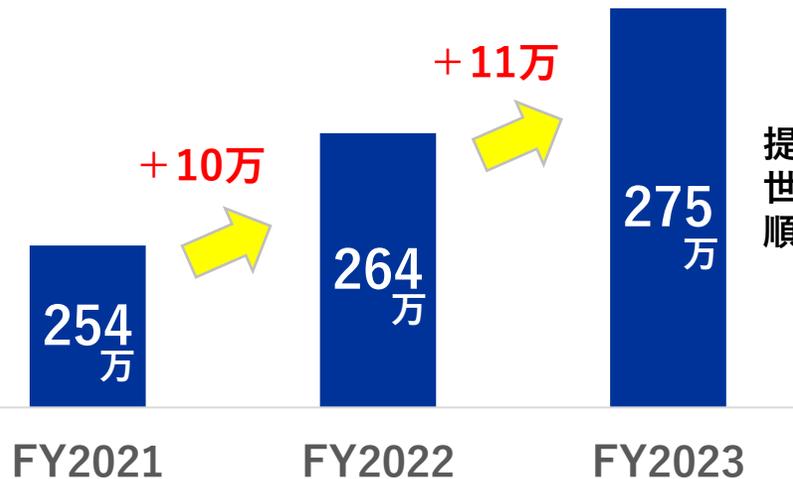
メディアHUBクラウド / 統合マスター
/ コンテンツデータベース

FTTH事業の成長

①光回線サービス上で地上波・BS・CS放送等を再送信、接続世帯数は伸長

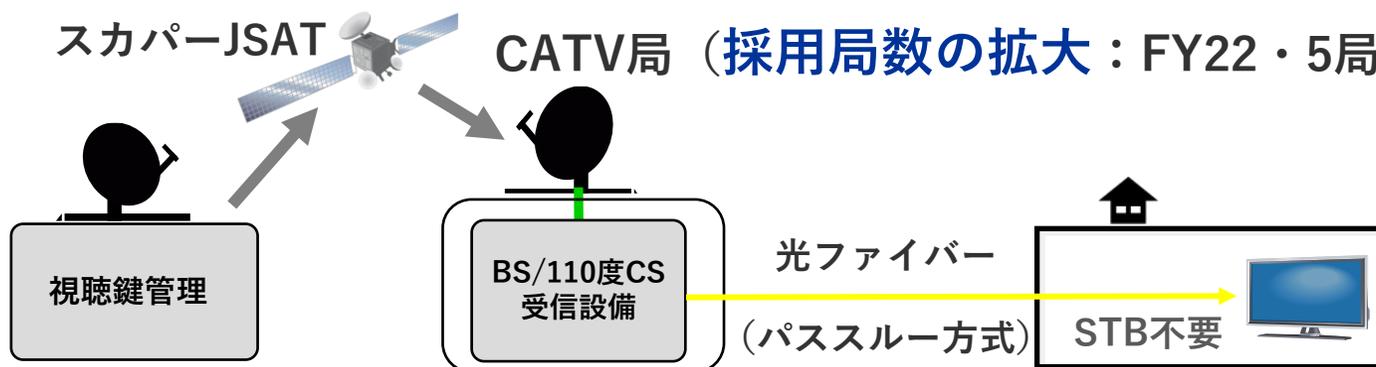


光再送信サービス接続世帯数 (世帯)



提供エリアは世帯カバー率76%まで順調に拡大

②衛星通信と視聴鍵信号管理技術を使ってケーブルテレビ事業者の課題を解決



※うち、23局サービス開始済

<主な導入メリット>

- ・ ACAS対応への設備投資コスト削減
- ・ お客様宅のSTB不要
- ・ 多チャンネル放送サービス継続 等

放送事業： 基幹商品を中心とした販売促進施策

2024シーズンも
プロ野球全12球団を全試合生中継



月額4,054円 (税込)



- ・契約件数 前年同日比 **104%**
(2024年4月21日)
- ・昨年好調のU30初めて割
キャンペーンを継続
- ・プロ野球セットアプリは
スマホでも視聴可能!

基本プランに注力
収益性向上を図る



50ch 月額3,960円 (税込)



- ・契約件数 前年比 **102%**
(2024年4月21日)
- ・例年より早い4月から
3か月間半額キャンペーンを開始
- ・解約率が低く単価が高い
基本プラン顧客シェアを拡大

人気スポーツを徹底中継

メジャーリーグベースボール(MLB) 2024

大谷翔平・山本由伸先発出場試合をJ SPORTSにて生中継
 そのほか、日本人注目選手の出場試合を中心に連日放送



MLB trademarks and copyrights are used with permission of Major League Baseball. Visit MLB.com

Photo by Getty Images

- ※1 アメリカ開催に限る。
- ※2 大谷選手・山本選手が出場しない場合や、MLB機構による開催予定変更の場合、放送内容変更の可能性あり。

上段

左：山本由伸選手(ロサンゼルス・ドジャース)

中：大谷翔平選手(ロサンゼルス・ドジャース)

右：ムーキー・ベッツ選手
 (ロサンゼルス・ドジャース)

下段

左：ジャスティン・スティール選手(シカゴ・カブス)

中：ダルビッシュ有選手(サンディエゴ・パドレス)

右：ラーズ・ヌートバー選手
 (セントルイス・カーディナルス)

2024 JリーグYBCルヴァンカップ

国内サッカー三大タイトルの一つであり、Jリーグの全60クラブが参戦するJリーグYBCルヴァンカップを全試合放送/配信



- スカパー！サッカーアプリ、SPOOX、Amazon Prime Video チャンネルで配信中、スカパー！サッカーセットで放送＋配信中
- その他、Jリーグ関連番組やドイツブンデスリーガの中継と関連番組も充実

コネクテッドTVへの取り組み

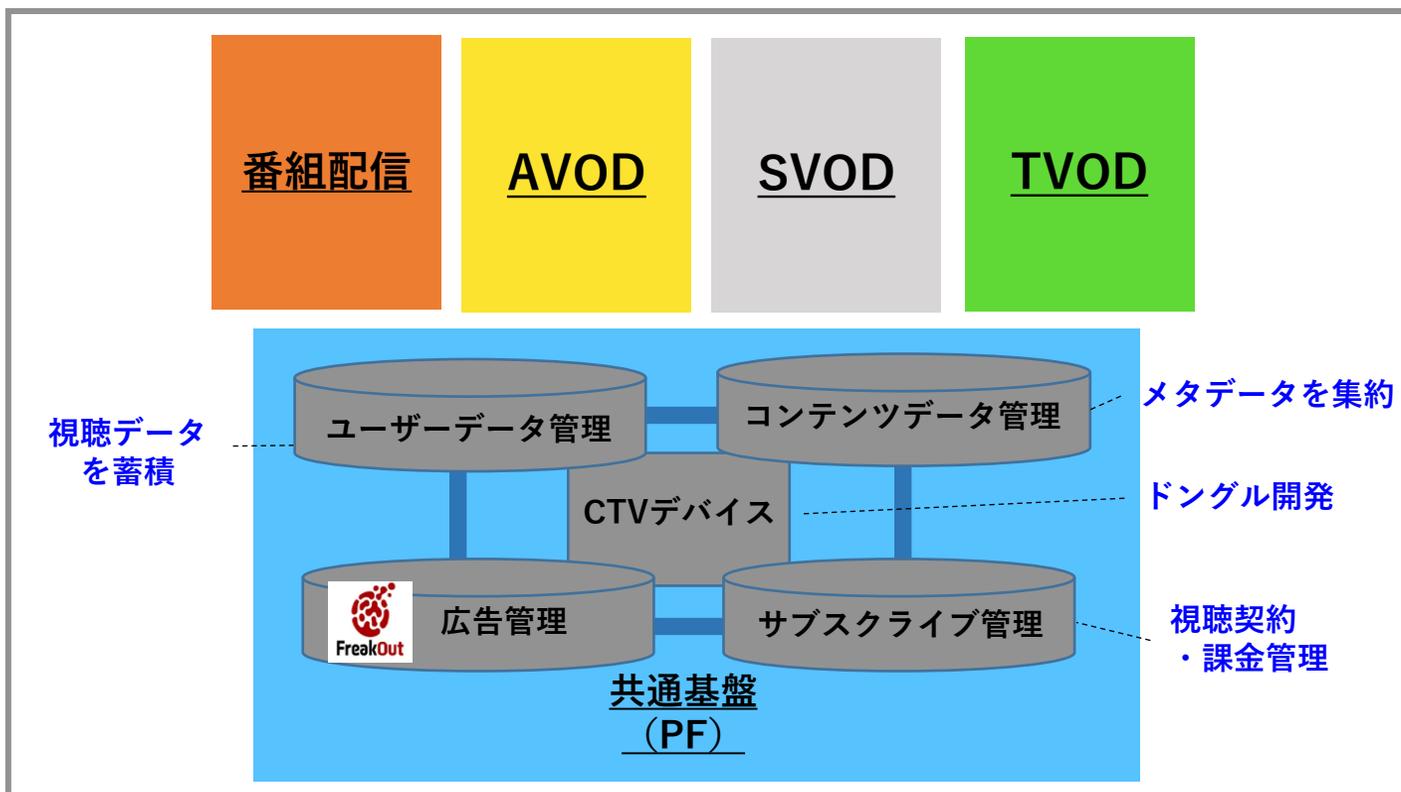
衛星放送プラットフォームから、 放送・配信ハイブリッド型プラットフォームへ

専門チャンネルで新たなコンテンツとの出会いを創出、動画配信サービスで深掘り
テレビ視聴がもっと楽しくなる顧客体験の実現

スカパー! DTH/FTTH



スカパー!+ CTV



コネクテッドTV：スカパー！プラス 10月サービス開始（予定）

- 4月25日から放送契約者向けに
先行モニター募集開始



- ケーブルテレビ事業者へのソリューション提供

FTTHパススルー方式+CTVデバイスで、
専門チャンネルと動画配信サービスの提供を実現

FTTHパススルー方式



CTVデバイス(CTV共通基盤)



株式会社スカパー・ピクチャーズの設立

アニメを中心としたグローバルIPビジネスへの進出

4つのアニメ作品を製作着工中、今後数年で10作品以上の
アニメ製作を企画から立ち上げ、国内外に展開していくことを目指す



IPビジネス全般

- ・企画開発
- ・作品製作
- ・映像販売



伊藤忠グループの資源を 活用した流通・商品展開

- ・国内商品化
- ・海外商品化



アニメを中心とした
映像コンテンツの企画・
製作投資・販売
および周辺事業を行う

国内映像販売

海外映像販売

国内外商品化

未知の大陸、生物、物質。
進化の歴史とは、未知との遭遇の歴史だ。
未知へひとたび飛びこめば、
想像をこえた景色が広がっている。
好奇心にあふれた仲間が集まる。
努力を、努力と忘れてしまう場所。
私たちが魅入られた未知は、宇宙。
誰かを笑顔にする、誰かの安全を守る、
新たな価値を見出してきた。
そしてまだ1%も探れていない。
残りの99%、
この地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
人工衛星たちと共に。

未知を、 価値に。

宇宙実業社

スカパーJSTAT

参考資料

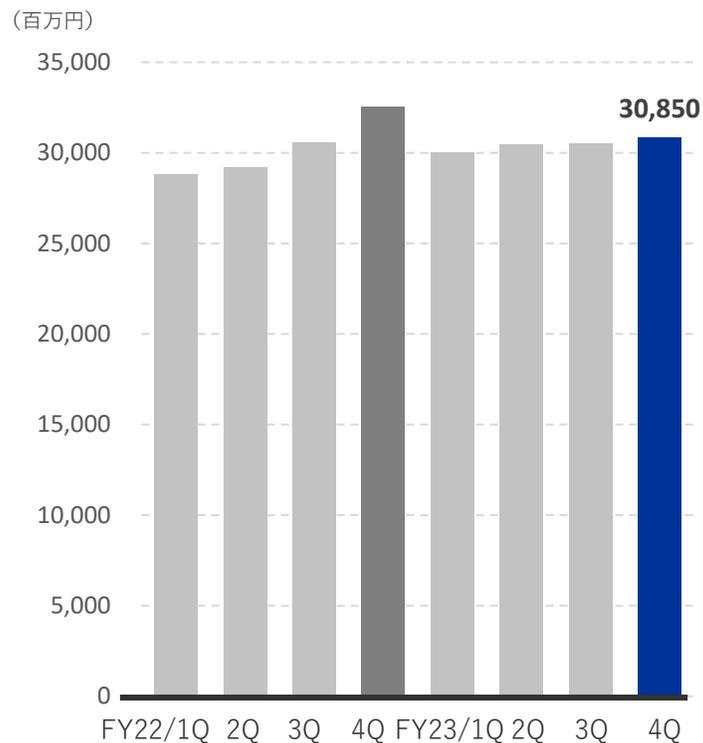
四半期セグメント別業績の進捗

(百万円)

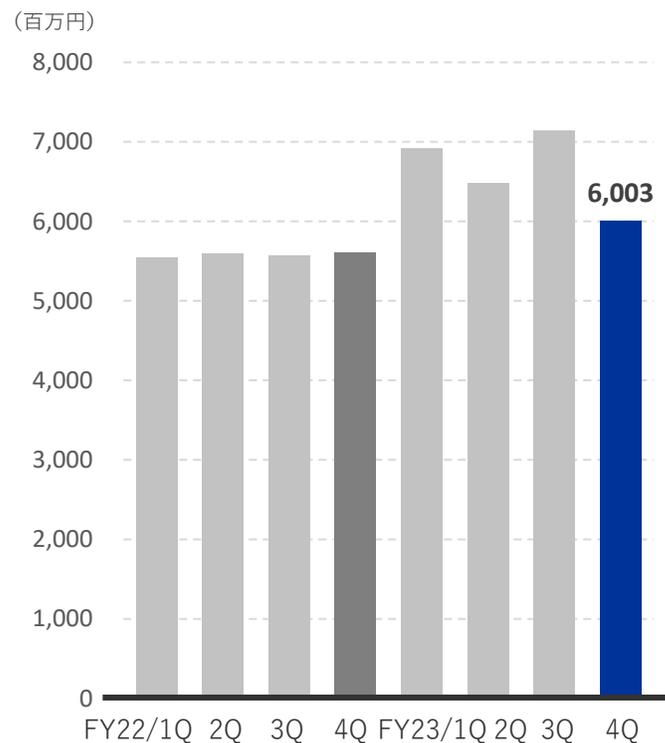
() は前年同期比	2023年度						
	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q累計	達成率	2023年度 修正 業績予想 <small>(2024年2月7日公表)</small>
営業収益	30,009 (104%)	30,488 (104%)	30,523 (100%)	30,850 (94.8%)	121,872 (100.6%)	100.3%	121,500 (100%)
宇宙事業	15,445 (112%)	15,593 (109%)	16,563 (106%)	17,146 (93.6%)	64,749 (104.2%)	100.4%	64,500 (104%)
メディア事業	16,965 (97%)	17,265 (100%)	16,284 (94%)	16,013 (96.5%)	66,528 (96.8%)	100.0%	66,500 (97%)
営業利益	6,919 (125%)	6,482 (116%)	7,140 (128%)	6,003 (107.0%)	26,545 (118.9%)	106.2%	25,000 (112%)
宇宙事業	5,670 (137%)	5,433 (129%)	5,902 (125%)	5,792 (94.9%)	22,798 (119.0%)	102.7%	22,200 (116%)
メディア事業	1,453 (91%)	1,231 (80%)	1,428 (138%)	290 (-)	4,402 (114.0%)	125.8%	3,500 (91%)
セグメント利益 親会社株主に帰属する純利益	4,982 (124%)	3,573 (97%)	4,820 (131%)	4,362 (98.6%)	17,739 (112.2%)	107.5%	16,500 (104%)
宇宙事業	4,008 (136%)	3,680 (140%)	3,949 (123%)	3,893 (82.5%)	15,532 (114.9%)	103.6%	15,000 (111%)
メディア事業	1,081 (93%)	△1 (-)	1,061 (152%)	406 (-)	2,548 (91.7%)	127.4%	2,000 (72%)

四半期連結業績推移 (FY2022/1Q – FY2023/4Q)

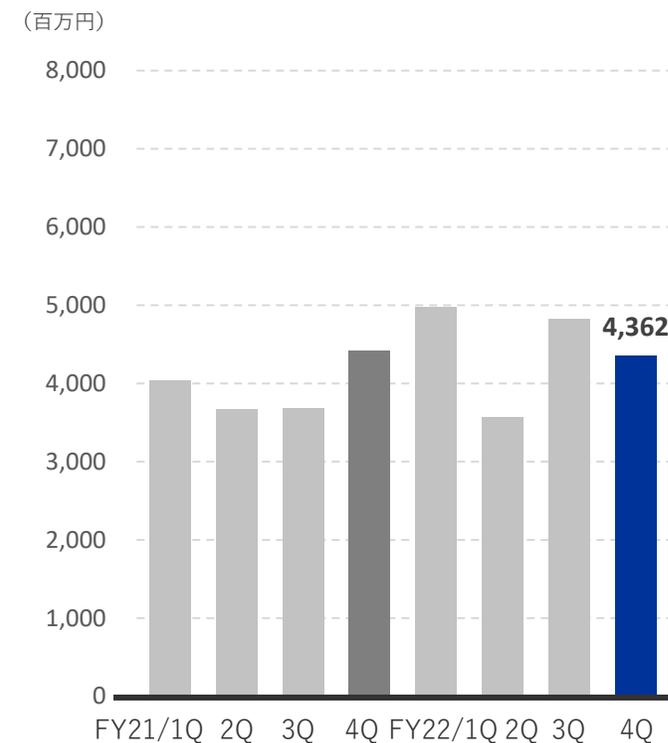
営業収益



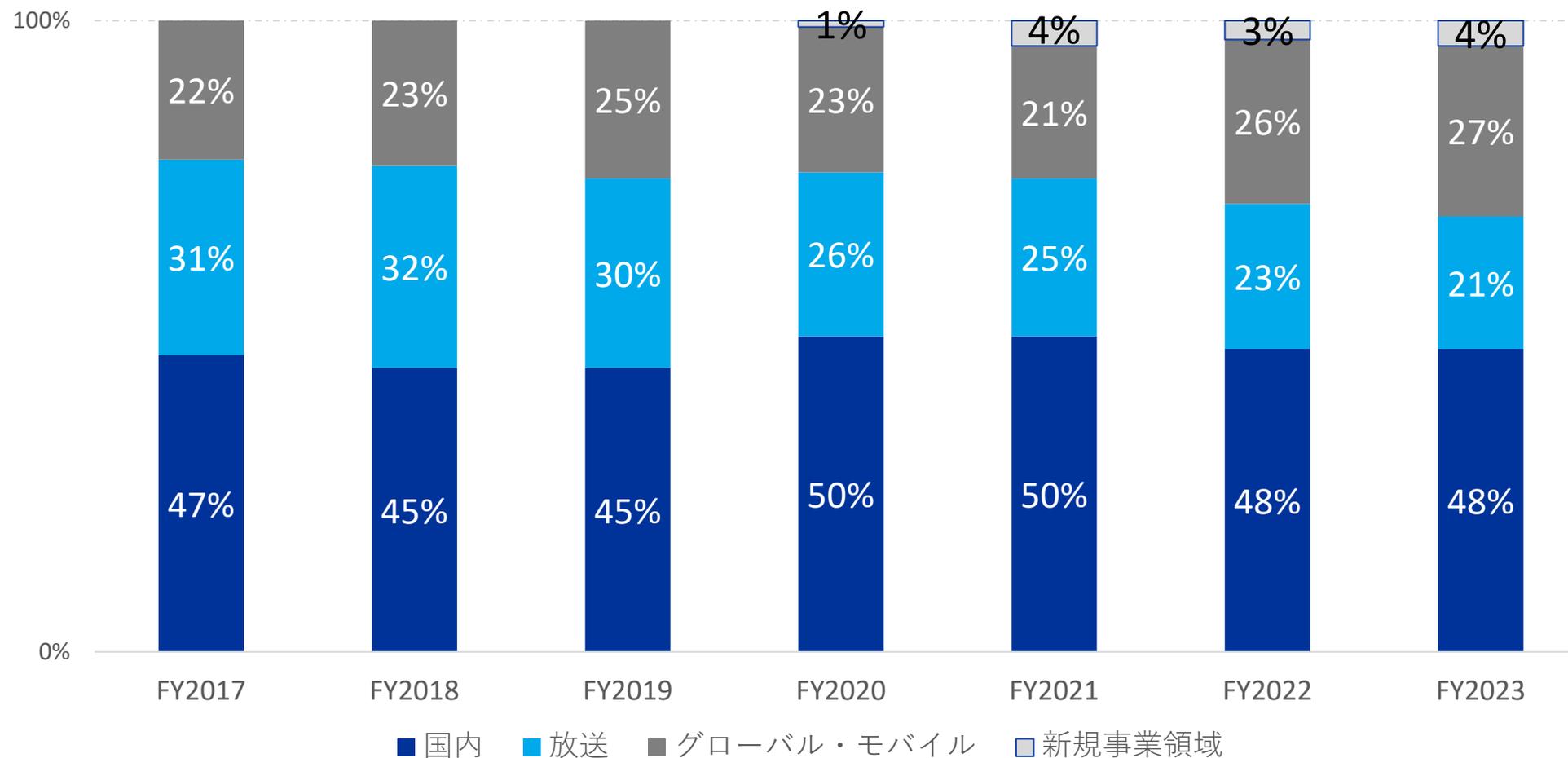
営業利益



四半期純利益



宇宙事業 営業収益構成比



※2016年度、2018年度の防衛省向け通信衛星売却の影響を除く

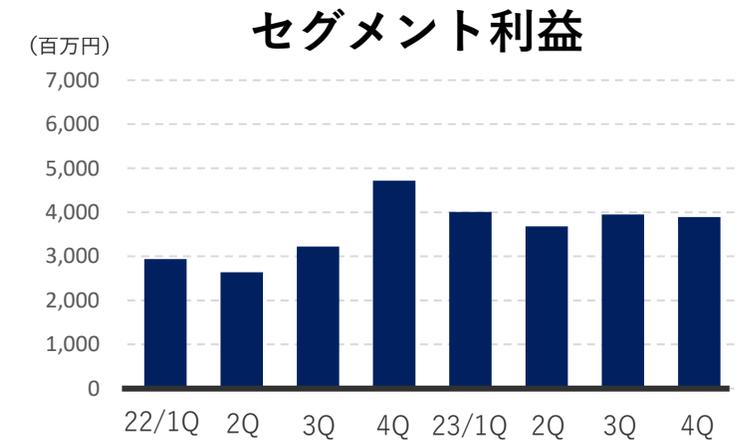
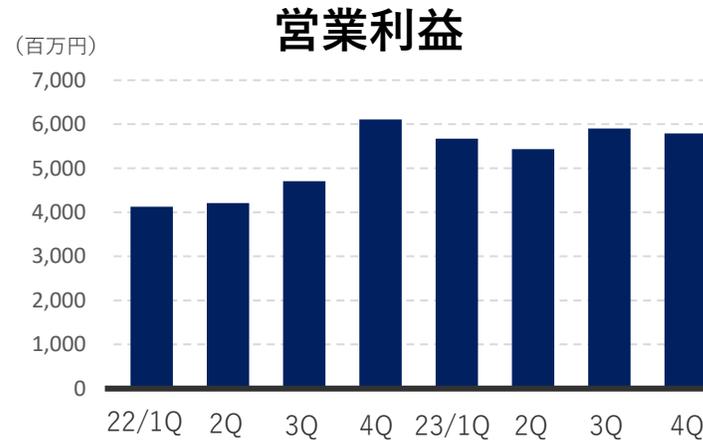
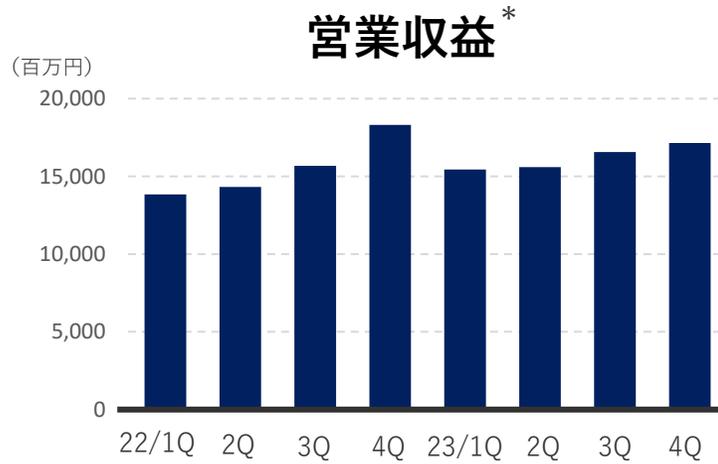
※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用

※2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内から新規事業領域に組み替えて再計算

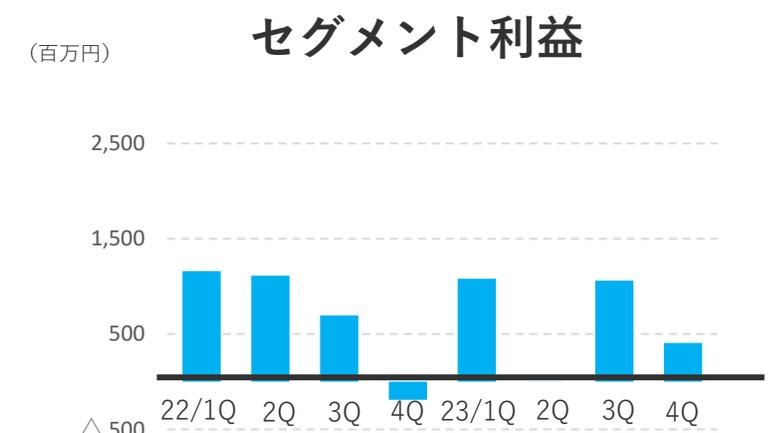
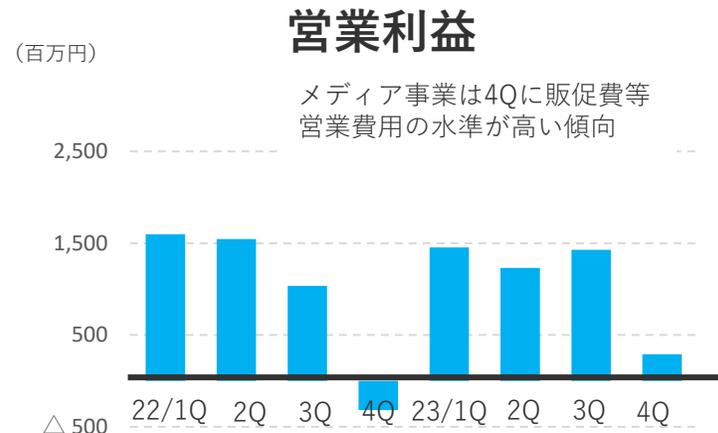
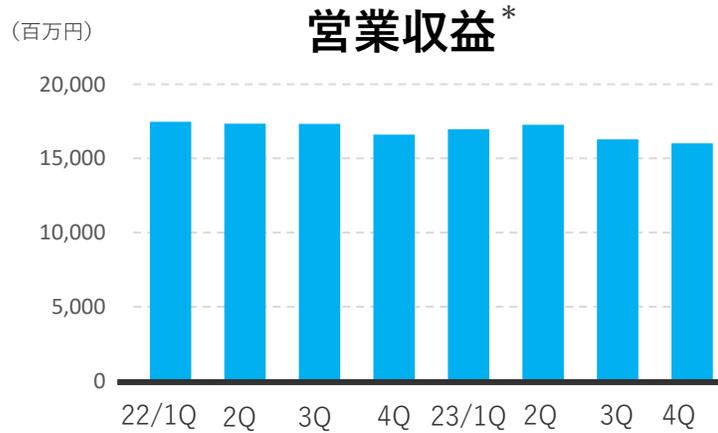
セグメント別四半期業績(2022/1Q - 2023/4Q)

宇宙事業

* 各数値はセグメント間の内部取引を含む。



メディア事業



セグメント別四半期業績(2022/1Q - 2023/4Q)

対前年同四半期比較

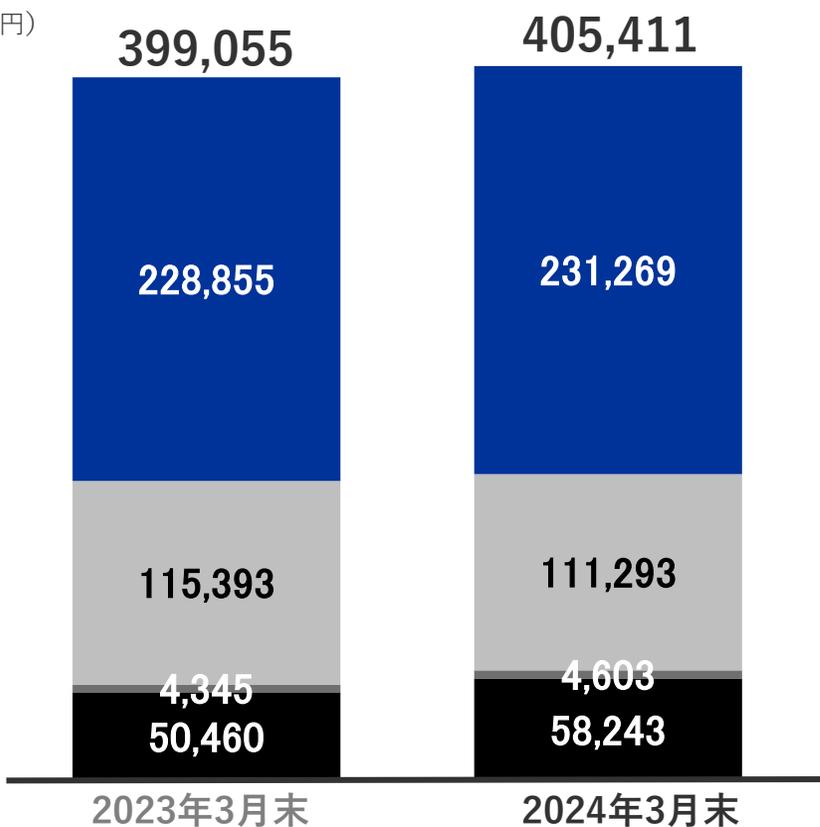
(百万円)

	2022年度					2023年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業収益	28,806	29,190	30,597	32,545	121,139	30,009	30,488	30,523	30,850	121,872
宇宙事業	13,841	14,319	15,677	18,314	62,154	15,445	15,593	16,563	17,146	64,749
メディア事業	17,463	17,340	17,326	16,601	68,733	16,965	17,265	16,284	16,013	66,528
消去又は全社	△2,499	△2,470	△2,406	△2,370	△9,747	△2,401	△2,370	△2,324	△2,309	△9,405
営業利益	5,551	5,595	5,566	5,609	22,324	6,919	6,482	7,140	6,003	26,545
宇宙事業	4,128	4,208	4,708	6,106	19,151	5,670	5,433	5,902	5,792	22,798
メディア事業	1,598	1,546	1,036	△318	3,863	1,453	1,231	1,428	290	4,402
消去又は全社	△175	△158	△178	△177	△690	△203	△181	△190	△78	△655
セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益)	4,033	3,669	3,683	4,423	15,810	4,982	3,573	4,820	4,362	17,739
宇宙事業	2,938	2,637	3,221	4,717	13,515	4,008	3,680	3,949	3,893	15,532
メディア事業	1,159	1,113	696	△189	2,779	1,081	△1	1,061	406	2,548
消去又は全社	△64	△81	△234	△104	△484	△107	△105	△190	62	△341

連結貸借対照表

資 産

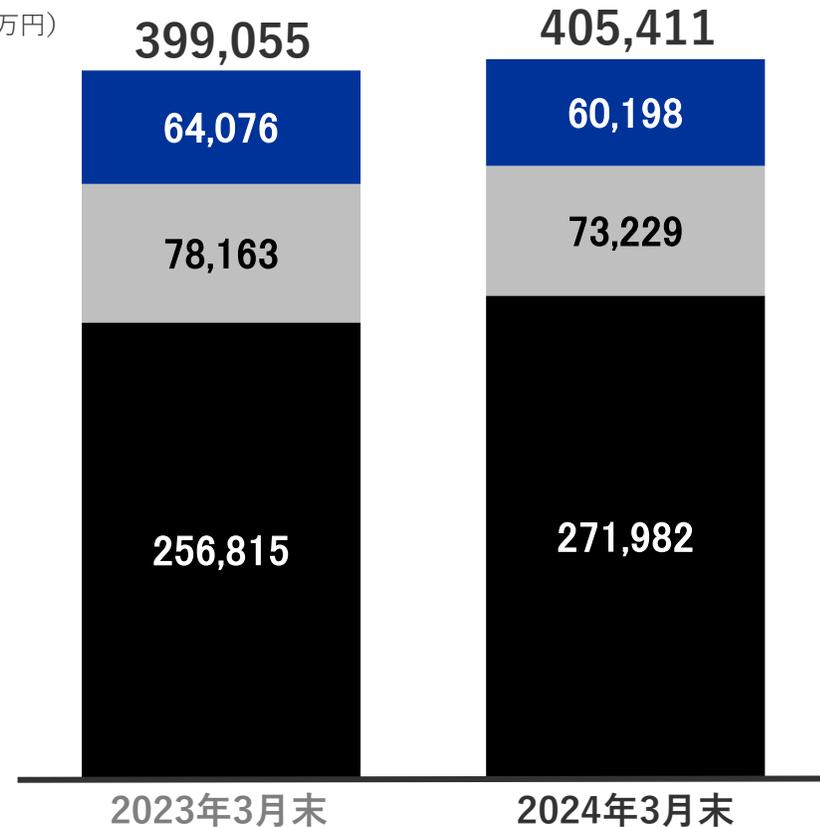
(百万円)



負債・純資産

自己資本比率： 64.0% → 66.7%

(百万円)



流動資産

有形固定資産

無形固定資産

投資その他資産

流動負債

固定負債

純資産

2024年度 減価償却費見込み

(億円)

	2023年度 実績	2024年度 見込	差異
減価償却費	202	183	△19
内訳： 宇宙事業	130	125	△5
メディア事業	69	57	△12
その他	2	0	△2

2024年度 投資計画

(億円)

	2023年度 実績	2024年度 見込	差異	備考
① 設備投資	164	210	+46	
内訳：				
宇宙事業	122	165	+43	衛星の調達等
メディア事業	40	45	+5	放送設備、 コネクテッドTV等
その他	2	0	△2	
② 事業投資	39	115	+76	
① + ② 投資合計	203	325	+122	

連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	2022年度	2023年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,630	42,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,870	△15,385
フリー・キャッシュフロー (*1)	40,760	27,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,422	△21,098
現金及び現金同等物の期末残高(a)	107,908	114,321
有利子負債期末残高 (*2) (b)	73,547	65,809
純有利子負債期末残高 (b) - (a)	△34,361	△48,512

*1. 営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

*2. 借入金+無担保社債

子会社業績

(百万円)

		SJC	SPCC	SPET	SPBC	III	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、衛星通信	有料多チャンネル放送等のカスタマーセンター運営	衛星基幹放送業務、衛星一般放送業務等	コンテンツ企画・制作、技術支援及び番組供給事業等	北米・ロシア・アジア太平洋での衛星回線販売事業	移動体衛星通信サービス事業
保有割合 (%)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	53.3
営業収益	FY2022/4Q	114,452	5,880	14,005	1,269	5,416	4,948
	FY2023/4Q	114,184	5,665	12,841	1,062	6,572	5,272
営業利益	FY2022/4Q	19,817	423	299	257	1,568	921
	FY2023/4Q	23,028	387	130	231	2,305	952
経常利益	FY2022/4Q	21,096	424	365	260	1,731	953
	FY2023/4Q	24,081	390	135	231	2,310	1,165

SJC：スカパーJSAT株式会社

SPCC：株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPET：株式会社スカパー・エンターテイメント

SPBC：株式会社スカパー・ブロードキャスティング

III：JSAT International Inc.

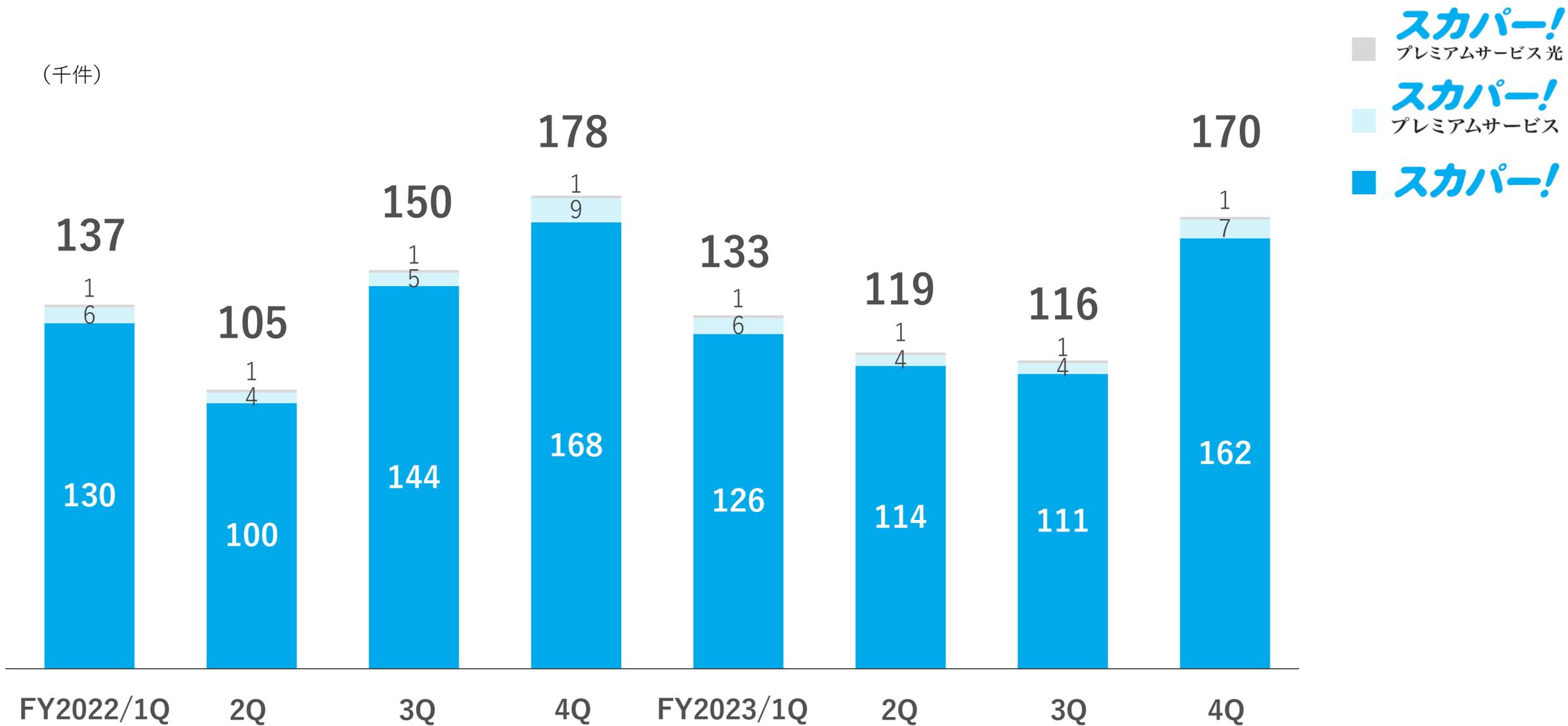
JMC：JSAT MOBILE Communications株式会社

主要指標（メディア事業）

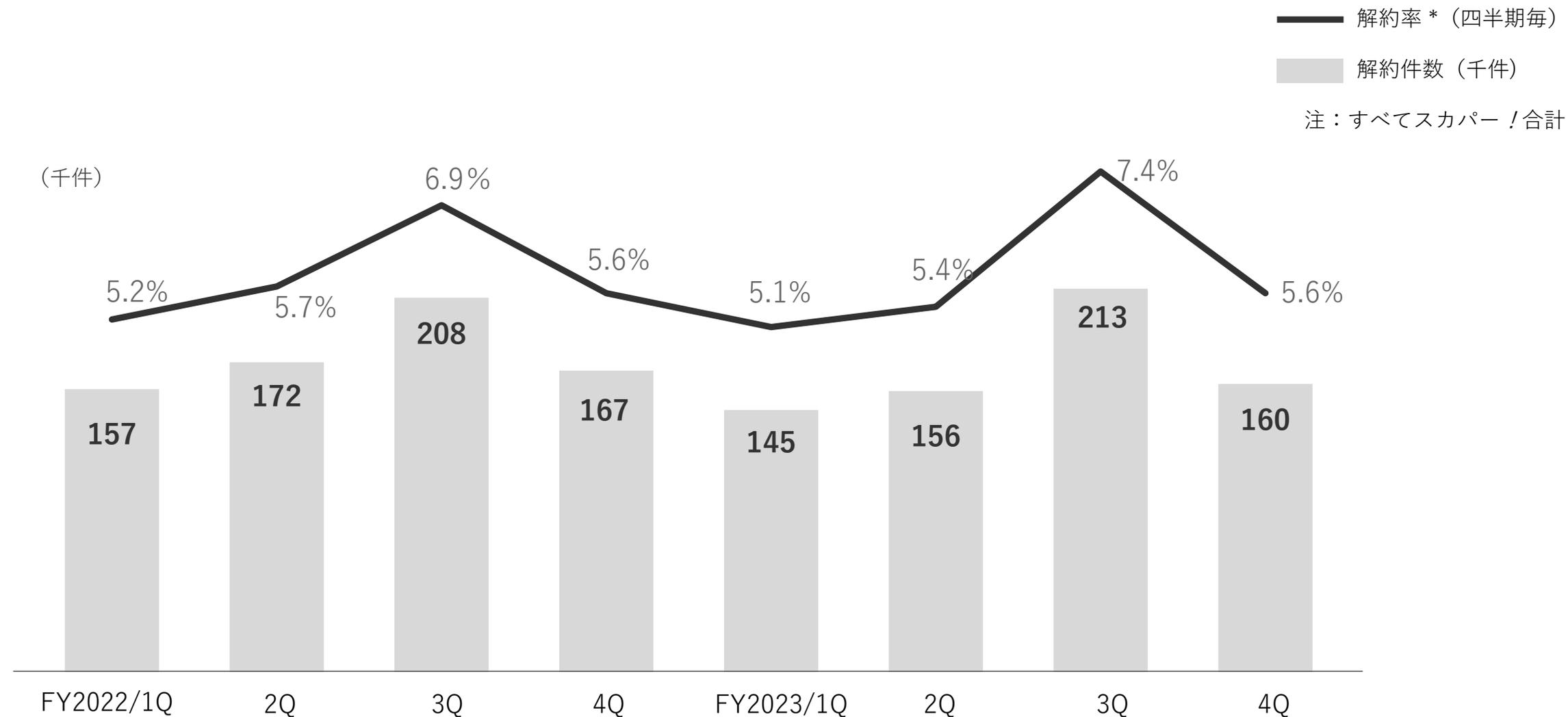
	2022年度	2023年度	2024年度 加入目標
新規（IC数：万件）	57.0	53.9	51.1
純増数（IC数：万件）	△13.3	△13.5	△15.0
（スカパー！）	（△6.3）	（△7.0）	（△8.7）
（スカパー！プレミアムサービス）	（△6.6）	（△6.1）	（△5.9）
（スカパー！プレミアムサービス光）	（△0.4）	（△0.4）	（△0.5）
累計加入件数（IC数：万件）	287.5	274.0	259.1
累計契約者数（契約者数：万件）	226.1	213.4	199.6
光再送信サービス接続世帯数（万件）	264.0	274.7	283.3
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,329	3,342	
スカパー！プレミアムサービス	3,517	3,492	
スカパー！プレミアムサービス光	5,054	4,991	

新規加入件数の推移（IC数）

(千件)

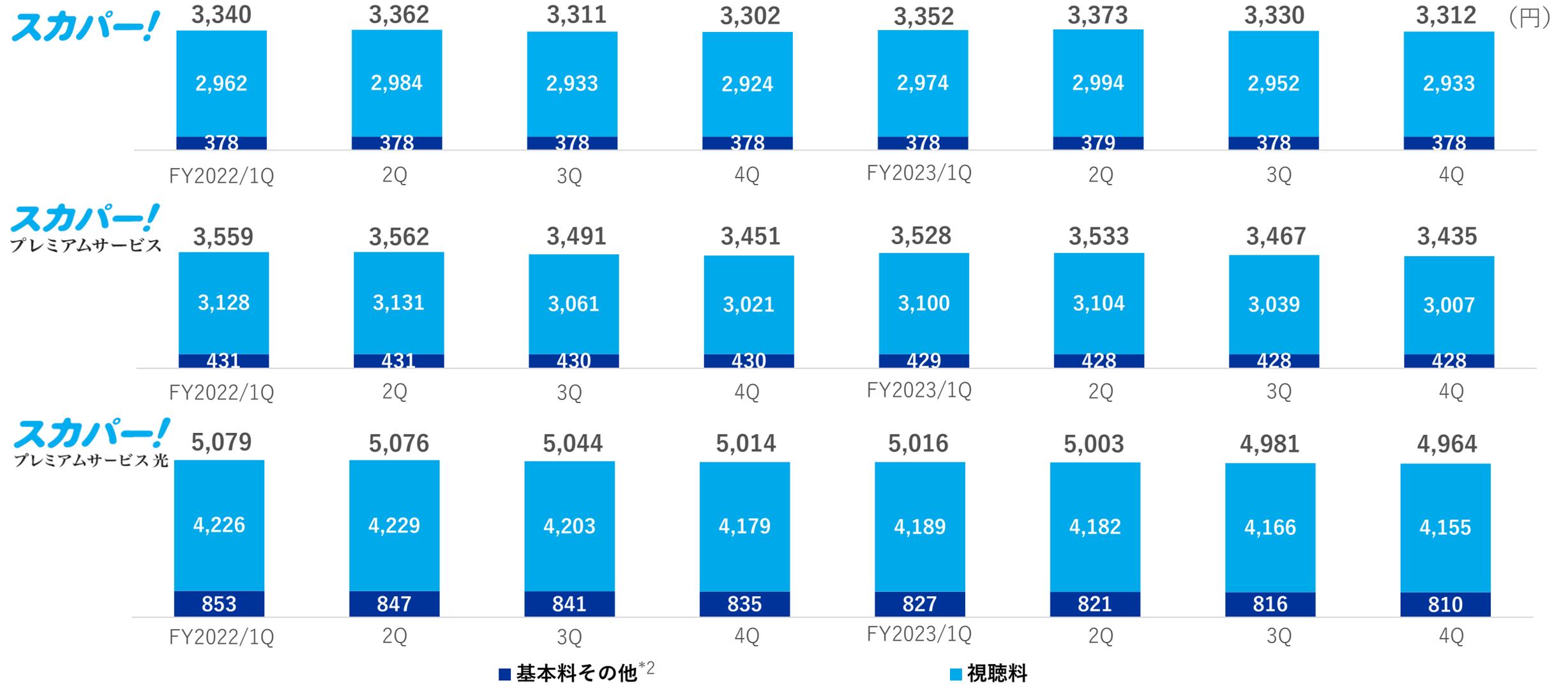


解約率の推移 (IC数)



* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

契約者支払単価*1



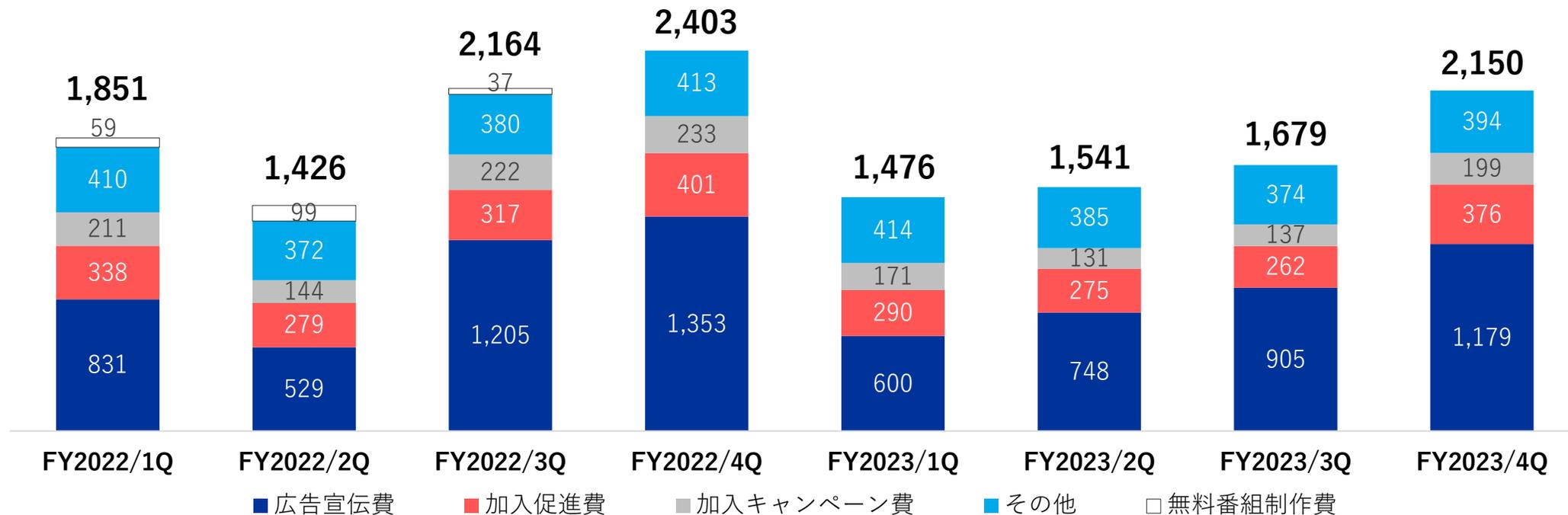
*1 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー!では約30%を業務手数料、スカパー!プレミアムサービス、およびスカパー!プレミアムサービス光では、番組供給料を控除した約50%を視聴料収入として収益認識しております。

*2 基本料及びセットトップボックスレンタル料。

顧客獲得費用総額 (SAC)

(百万円)



- 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用
- 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)、販売インセンティブ
- 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)
- その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等
- 無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用（22年10月末閉局のため、以降は発生なし）

保有衛星：静止軌道衛星（GEO）17機

衛星		軌道位置	衛星バス	打ち上げ年月日	打ち上げロケット
Horizons-1	※1	西経150度	Boeing 601HP	2003年10月1日	Zenit-3SL (Sea Launch)
JCSAT-9		東経132度	Lockheed A2100AX	2006年4月13日	Zenit-3SL (Sea Launch)
JCSAT-3A		東経128度	Lockheed A2100AX	2006年8月12日	Ariane5
Horizons-2	※1	西経74度	Orbital STAR2	2007年12月22日	Ariane5
Superbird-C2		東経144度	MELCO DS2000	2008年8月15日	Ariane5
JCSAT-5B		東経132度	Lockheed A2100AX	2009年8月22日	Ariane5
JCSAT-85	※1	東経85度	Orbital STAR2	2009年12月1日	Zenit-3SL (Sea Launch)
JCSAT-110R	※2	東経110度	Lockheed A2100AX	2011年8月7日	Ariane5
JCSAT-4B		東経124度	Lockheed A2100AX	2012年5月16日	Ariane5
JCSAT-2B		東経154度	SSL1300	2016年5月6日	Falcon 9 (SpaceX)
JCSAT-16		予備	SSL1300	2016年8月14日	Falcon 9 (SpaceX)
JCSAT-110A		東経110度	SSL1300	2016年12月22日	Ariane5
Superbird-B3		東経162度	MELCO DS2000	2018年4月6日	Ariane5
Horizons 3e	(HTS) ※1	東経169度	Boeing 702MP	2018年9月26日	Ariane5
JCSAT-1C	(HTS) ※3	東経150度	Boeing 702MP	2019年12月17日	Falcon 9 (SpaceX)
JCSAT-17		東経136度	LM2100	2020年2月19日	Ariane-5ECA
Horizons-4	※1	西経127度	Maxar 1300 series bus	2023年8月3日	Falcon 9 (SpaceX)

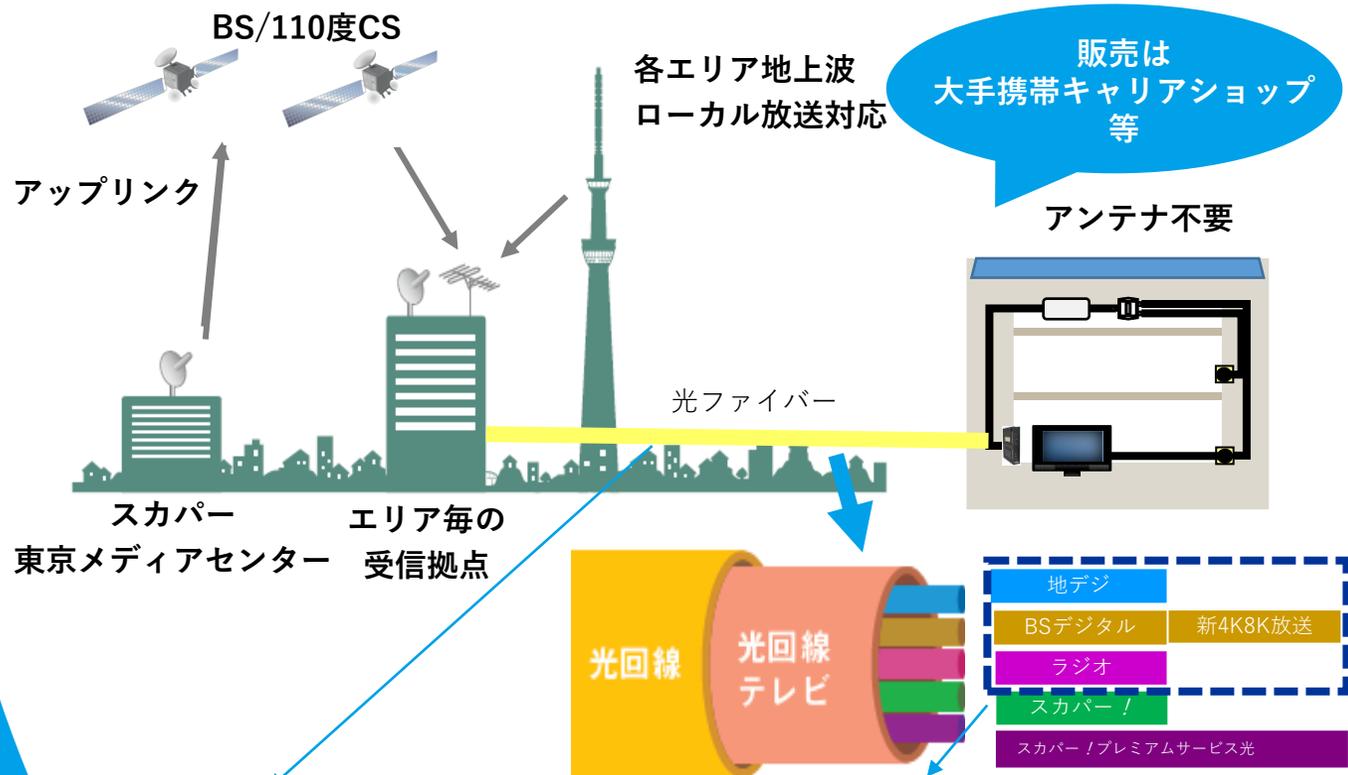
※1 Intelsat社との共同衛星／※2 BSAT社との共同衛星／※3 Kacific社との共同衛星

	Kuiper	Starlink	OneWeb	LightSpeed
衛星機数 (計画)	3,236機	(第1世代) 4,408機 (第2世代) 7,500機	(第1世代) 648機 (第2世代) 360機	198機
サービス 周波数	Ka Band	Ku band	Ku Band	Ka Band
通信速度	約数百Mbpsクラス			
サービス 提供状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年～ サービス開始予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供中 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部地域 サービス提供中 ・日本国内提供準備中 	<ul style="list-style-type: none"> ・2027年後半 サービス開始予定
当社取組	<p>【当社】 NTTグループと 戦略的協業に合意</p>	<p>【当社】 Starlink Business 2023年12月～提供</p>		

※EUROCONSULT SATELLITE CONNECTIVITY AND VIDEO MARKET 2023を元に当社にて作成。一部当社調べ含む。

FTTH事業(光再送信サービス)の仕組み

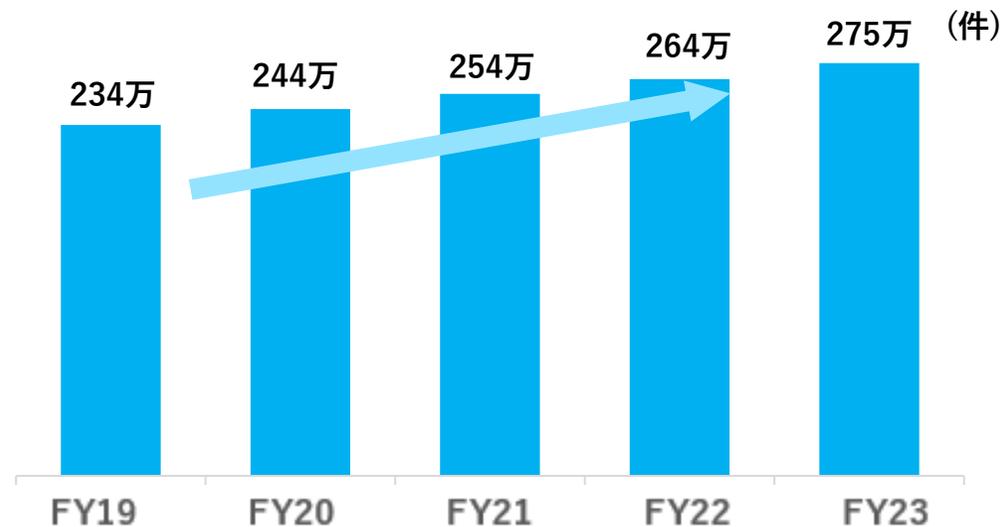
- ・戸建・マンション向けに光回線サービス上で地上波・BS・CS放送等を再送信
- ・提供エリアは世帯カバー率76%まで順調に拡大



- 提供可能世帯数：約4,280万世帯（37都道府県）
- 世帯カバー率：約76%*（対47都道府県総世帯数）

* 国勢調査世帯数より算出

接続世帯数推移



費用：
通信事業者への回線料等

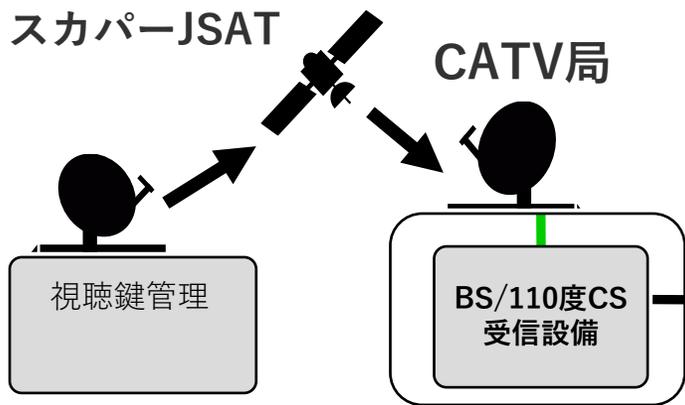
月額利用料：825円

テレビ視聴サービス330円/月（スカパーJSAT提供）
+ 光回線テレビ伝送サービス495円/月（コラゴ事業者提供）
※料金は戸建ての場合（税込）

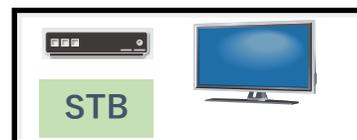
衛星通信と視聴鍵信号管理技術を使ってケーブルテレビ事業者の課題を解決

➤ 2024年4月現在 サービス開始済23局、サービス開始前1局、合計24局

【サービスイメージ】
スカパーJSAT



従来



<主な導入メリット>

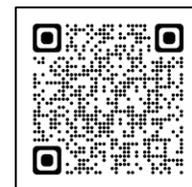
- ・ ACAS対応への設備投資コスト削減
- ・ お客様宅のSTB不要
- ・ 多チャンネル放送サービス継続 等

<サービスの詳細はこちら>

視聴制御機能提供

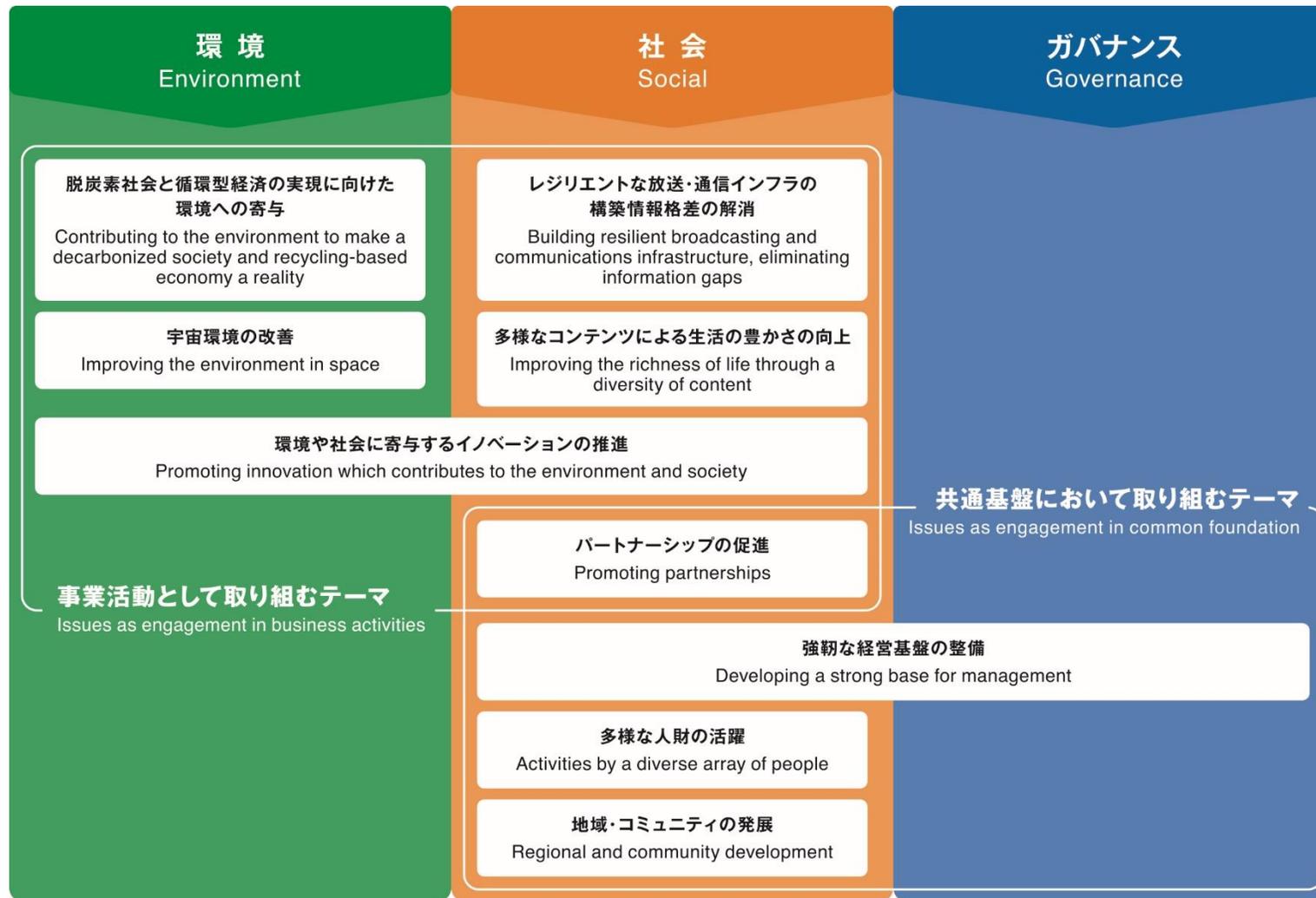
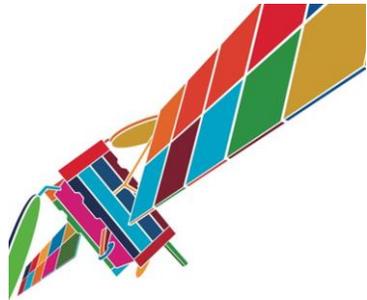


- 収入)
- ・ 登録料 (初回)
 - ・ 鍵管理手数料 (月額)



ケーブルテレビ事業者とは、スカパー！番組配信の普及促進や、CTV(ドングル)戦略等、更なるアライアンス強化を目指す。

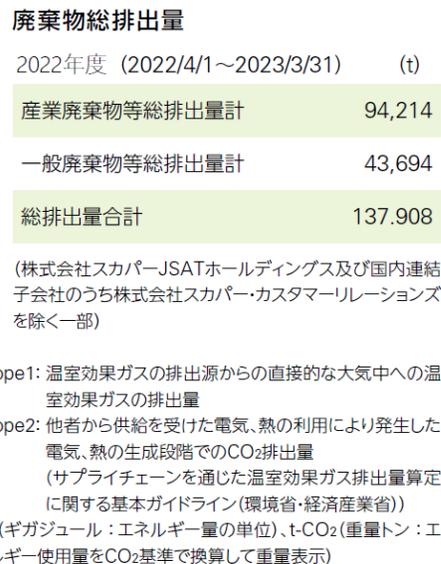
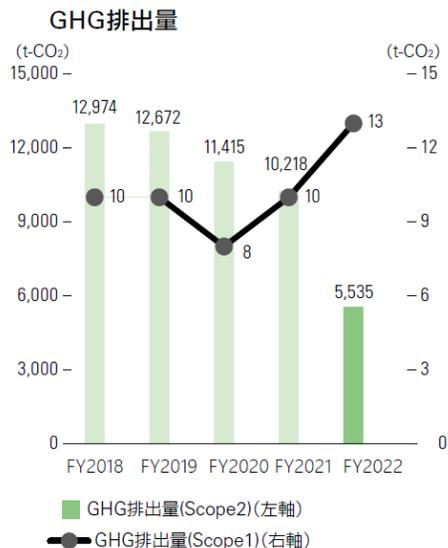
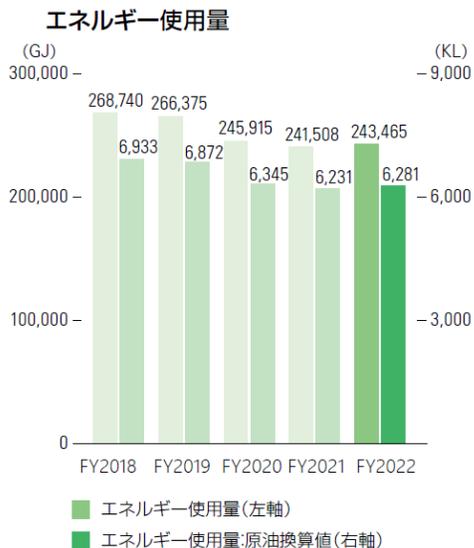
9つの重要課題（マテリアリティ）テーマ



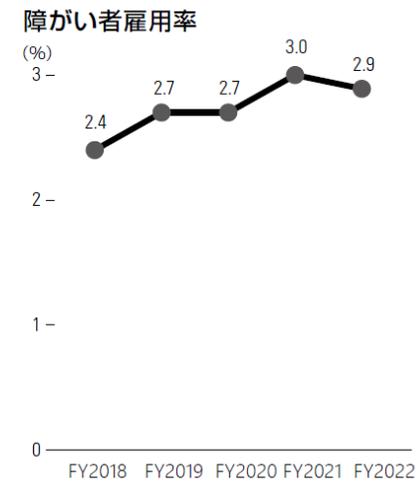
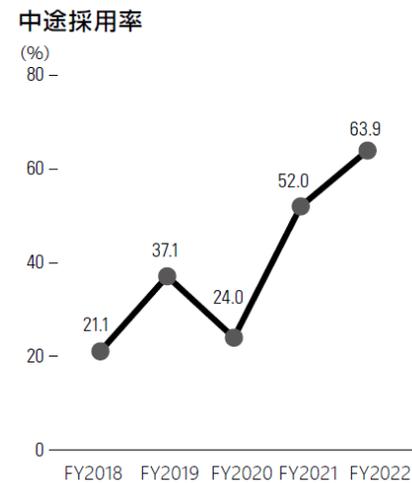
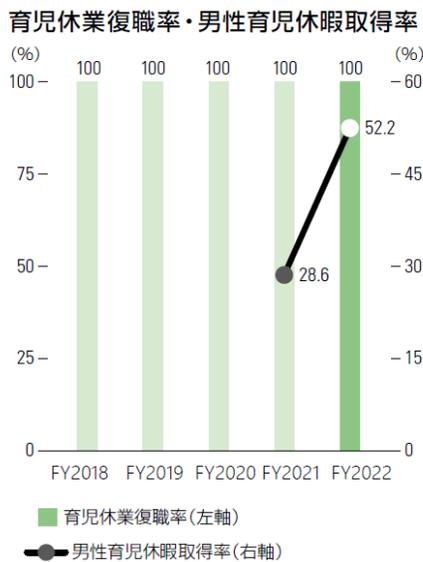
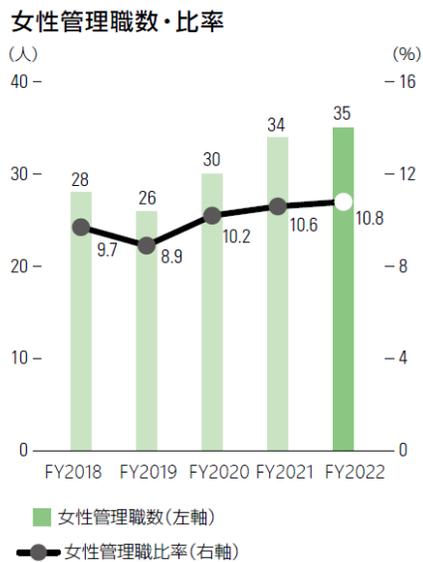
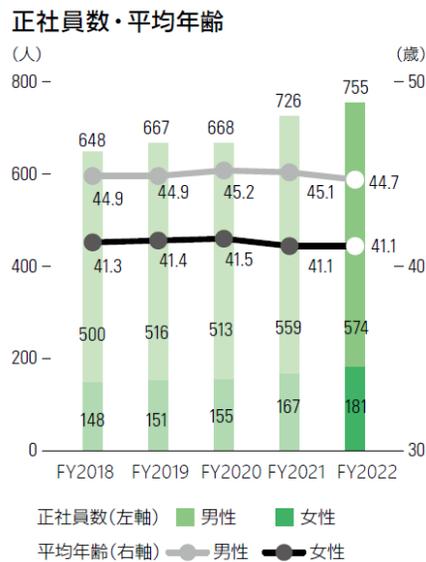
当社グループのサステナビリティ詳細は、こちらをご覧ください。
<https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/>



ESGデータ ※スカパーJ S A T(株)単体での集計（廃棄物総排出量を除く）



2023年度実績の各ESGデータは当社グループサイトにて公開を予定しています。(6月末)
https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/library/data_e/



Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

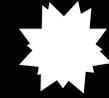
Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。

宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、

これらすべての Space が笑顔で満たされるように。

日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、

ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部

TEL : 03-5571-1515

FAX : 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

 *SKY Perfect JSAT Group*

The logo consists of a stylized white graphic element resembling a bird or a flame with a red dot, followed by the text "SKY Perfect JSAT Group" in a white, italicized sans-serif font.